

瀬戸市教育委員会 4 月定例会

1 報 告

- (1) 令和 6 年度教育員会事務局職員名簿について (教育政策課長) . . . P 1
- (2) 催物の後援・推薦に係る審査結果報告について (教育政策課長) . . . P 3
- (3) 催物の後援・推薦に係る実績報告について (教育政策課長) . . . P 5
- (4) 令和 6 年度瀬戸市立小中学校長等名簿について (学校教育課主幹) . . . 当日配布
- (5) 主任主事等発令・解任一覧表について (学校教育課主幹) . . . 当日配布
- (6) 児童生徒数及び学級数一覧表について (学校教育課主幹) . . . 当日配布
- (7) 令和 6 年度入学児童生徒校区外通学申請者数について (学校教育課長) . . . P 7
- (8) 令和 5 年度瀬戸市教育支援委員会事業報告並びに令和 6 年度瀬戸市教育支援委員会事業計画について (学校教育課主幹) . . . P 9
- (9) 「みんなでつくる瀬戸の学校 2 0 2 4」について (学校教育課主幹) . . . 別添資料
- (10) 令和 5 年度学校評価結果報告書について (学校教育課主幹) . . . 別添資料
- (11) 令和 6 年度まちづくり協働課事業計画について (まちづくり協働課長) . . . P 10
- (12) 令和 6 年度スポーツ課活動予定について (スポーツ課長) . . . P 11
- (13) 令和 6 年度瀬戸市スポーツ協会小中学生大会一覧表について (スポーツ課長) . . . P 12

2 議 案

- 第 1 6 号議案 瀬戸市教育支援委員会委員の委嘱について
(学校教育課長) . . . P 14・当日配布
- 第 1 7 号議案 瀬戸市指定有形文化財の指定について (文化課長) . . . P 15

3 その他

- ・日程について . . . P 22

令和6年度教育委員会事務局職員名簿

所 属 名	職 名	氏 名
	教育長	加藤 正彦
	教育部長	駒田 一幸
教育政策課	課長	谷口 墨
	企画補佐兼課長補佐	松見 健一
	主幹	豊田 幸一
企画係	専門員兼企画係長	松浦 慎造
	専門員兼指導主事	水野 臣浩
	主査	谷山 隼
	主事	梶原 史帆
施設係	施設係長	奥村 祐麻
	主任	峯藤 駿佑
	技師補	三島 広大
学校教育課	課長	杉江 圭司
	課長補佐	荻原 美帆
	主幹兼管理指導主事	加藤 淳
指導係	専門員兼指導係長兼指導主事	高島 賢二
	専門員兼指導主事	稲葉 雄一
	専門員兼指導主事	高木 貴史
	専門員兼指導主事	小倉 奈保
	主事（スクールソーシャルワーカー職）	小野 百花
	主事補（スクールソーシャルワーカー職）	岡井 勇樹
学事係	専門員兼学事係長	増田 沙織
	主任	齋藤 遊馬
	主任	安部 智裕
	主事	野口 智子
学校給食担当	主幹	加藤 都志雄
	学校給食係長	柴田 純一
	技能主査	浅井 義嗣
	技能員	門野 みゆき
効範小学校	技能主査（用務員）	梅村 和代

令和6年度教育委員会事務局職員名簿

所 属 名	職 名	氏 名
	技能主査（用務員）	小島 亮
掛川小学校	技能主査（用務員）	松原 由美
長根小学校	技能主査（用務員）	高島 亜有美
萩山小学校	技能主査（用務員）	進藤 友之
	技能主査（調理員）	鈴木 貴子
	技能主査（調理員）	柏木みゆき
八幡小学校	技能主査（用務員）	上村 寿代
幡山中学校	技能主査（用務員）	森本 直子
光陵中学校	技能主査（用務員）	横田 由香里
にじの丘中学校	技能主査（用務員）	河村 浩二
瀬戸特別支援学校	保健師	大野 亜紀
	看護師	田中 珠美
	看護師	若杉 奈都
	技能主査（調理員）	水野 美由紀
	技能主査（調理員）	藤本 美香
	技能主査（調理員）	竹岡 ゆかり
	技能主査（調理員）	北潟 純子
	技能主査（調理員）	木村 妙子
	技能主査（調理員）	石原 裕美
	技能主査（調理員）	田中 良江
図書館	館長	吉村 きみ
	専門員	幸村 弘美
	主任	伊藤 ありさ
	主事	矢野 和幸

催物の後援・推薦に係る審査結果報告書

NO	申請受付年月日	主催者	催物名	会場・開催期間等	催物内容等	申請区分	入場料等	許可年月日 (整理番号)	チラシ等
1	令和6年2月26日	愛知工業大学	まるごと体験ワールド	愛知工業大学 八草キャンパス 令和6年8月8日(木)	地域の社会教育活動として、小中学生を対象に実験・体験をおとして、ものづくりや学ぶことの面白さを知ってもらいます。本学教員の専門分野の講座を開講。小中学生に分かりやすく・面白く工夫して、興味を持っていただける内容です。	後援(継続)	入場料 無料 参加料 参加料：0円から5,500円(講座による)	令和6年3月5日 (5-293-103)	
2	令和6年2月26日	瀬戸ファミリーシンガーズ	瀬戸ファミリーシンガーズチャリティーコンサート オリジナルミュージック あなたと出会えた奇跡 ～いのちの大切さを伝える愛の物語～	瀬戸市文化センター文化ホール 令和6年4月6日(土)	東日本大震災後から始めたこのチャリティーコンサートは、今回で11回目を迎えます。隣国で戦争が勃発し世界中からウクライナへ様々な支援が集まる中で、同じ世代の子どものことを考えるところでも悲しい思いを感じていました。平和への願いを込めて今回のチャリティーコンサートを準備しました。コンサートに来場した子どもたちに、歌を通して命の輝き、平和への祈りを伝えることができたと願っています。先日はトルコ・シリア地震が起こり、今も大切な生活をされている方へ、募金活動を通じて愛のメッセージを通して伝えたいと考えており	後援(継続)	入場料 無料 参加料 有料：舞台参加費7000円	令和6年3月5日 (5-294-104)	○
3	令和6年2月27日	平安閣グループ	「ありがとうを贈ろう。」キャンペーン	令和6年5月1日(水)～令和6年12月31日(火)	ありがとうと感謝することの大切さを伝え、心豊かな社会にするために、大切な人へ贈るありがとうのメッセージを募集し「ありがとうの本」を制作。	後援(継続)	入場料 無料 参加料 無料	令和6年3月5日 (5-295-105)	○
4	令和6年3月4日	瀬戸陶芸協会	第84回瀬戸陶芸協会展	瀬戸信用金庫本店ギャラリーひまわり 令和6年5月9日(木)～令和6年5月22日(水)	本展では会員の新作を一堂に展示します。会員相互の研鑽と地域文化の向上発展に寄与することを目的とし開催しております。	後援	入場料 無料 参加料 無料	令和6年3月11日 (5-297-106)	
5	令和6年3月5日	尾張瀬戸武田信玄古城再建プロジェクトチーム	瀬戸武田信玄公歴史探索プロジェクト開催	山口連区自治会憩いの家 令和6年4月14日(日)	瀬戸に残されている武田信玄の史跡や文化財等の探索、勉強会	後援(継続)	入場料 無料 参加料 有料：500円	令和6年3月11日 (5-298-107)	○
6	令和6年3月6日	瀬戸商工会議所青年部	第63回せと陶祖まつり協賛事業	尾張瀬戸駅北側ロータリー会場 令和6年4月20日(土)～令和6年4月21日(日)	第63回目となる『せと陶祖まつり』において、地域の代表的な行事の一助となるべく協賛事業を行う。 また、瀬戸市の伝統的なまつりであるせと陶祖まつりを後世にまで残るよう多くの来場者に広く知っていただく。特に次代を担う子供たちには、伝統を大切にすることを醸成し、今後の瀬戸市の文化の質の向上と発展に資することを目的とする。	後援(継続)	入場料 無料 参加料 有料：染付体験500円・ボデイスーツ大200円・小100円、缶バッジ200円・ハーバリウム500円	令和6年3月12日 (5-300-108)	○

催物の後援・推薦に係る審査結果報告書

7	令和6年 3月7日	NHK名古屋放送局、 愛知県小中学校音楽 教育研究会、愛知県高 等学校音楽教育研究 会、全日本音楽教育研 究会（共催）瀬戸市、 公益財団法人瀬戸市 文化振興財団	第91回 NHK全国学校音楽コ ンクール 愛知県コンクール（尾 張地区予選・高等学校の部予選）	瀬戸市文化センター 令和6年7月29日（月）～令 和6年7月30日（火）	県内の小・中・高等学校の児童・生徒を対象と し、歌う楽しさ、声を合わせる喜びを感じ取り、こ この成長に寄与する。	後援（継続）	入場料 無料 参加料 無料	令和6年3月12日 (5-301-109)	
8	令和6年 3月8日	特定非営利活動法人 Meets Vision	みんなで!! ロボットコンテス ト!! 第2回 東海エレクトロニ クス杯	開会式・組み立て教室：オンラ イン（ZOOM） 作品交流会・ 表彰式：東海エレクトロニクス （株）名古屋市中区栄3丁目 34-14 令和6年4月15日（月）～令 和6年7月6日（土）	想像力を膨らましアイデアいっぱい のロボットを製作し、ロボットコン テストに挑戦することで子ども達 がものづくりを取り組む機会と、も のづくりの楽しさややすばらしさを 体感できる場を創出する。子ども 達の発想や製作技術を価値付け、も のづくりへの関心を深める。またキ ャリア教育の視点から、地域のも のづくり産業への興味関心を養う。	後援（継続）	入場料 無料 参加料 有料:3,850円(N HK小学生ロボコン公式 キット代のみ)	令和6年3月12日 (5-302-110)	
9	令和6年 3月12 日	瀬戸市和太鼓連盟、有 限会社 志多ら	つながる和太鼓プロジェクト 陽 かりさす 瀬戸公演	瀬戸市文化センター 令和6年7月27日（土）	瀬戸市に 関わりの深いプロ太鼓チーム「志 多ら」と同じ舞台で演奏すること で、瀬戸市で、和太鼓を中心とし た伝統文化の更なる普及を目指し ます。「陽かりさす」のタイトル のように、人と人との繋がりが りや感動を共有し「祭」「文化 芸術活動」「地域づくり」への 関わりや伝統文化を考えるきっ かけにしていきたいです。	後援（継続）	入場料 有料：おとな 4,000円 子ども3,000円 参加料 有料：おとな 3,000円 子ども2,000円	令和6年3月21日 (5-303-111)	
10	令和6年 3月12 日	東海労働金庫	第13回「はたらく人にありが と」メッセージ募集	東海労働金庫本店ビル 令和6年7月1日（月）～令 和6年12月31日（火） ※令和6年12月末の大賞作品 新聞掲載をもって、事業終了と なる。	働いている人（お父さん、お母 さん、お母さん、店員さん、上 司、部下など）、働いてきた人 への感謝の気持ちを込めたメッ セージを募集する。「はたらく 人への感謝」とともに「はたら く」ということを考える機会を 発信する。併せて、寄せられた 感謝の言葉をはたらく人を応援 する金融機関として、はたらく 人に発信し励みにしていきたい ことを目的とする。	後援（継続）	入場料 無料 参加料 無料	令和6年3月21日 (5-304-112)	

催物の後援・推薦に係る実績報告書

NO	報告受付年月日	報告区分	主催者 (申請者)	催物名	会場・開催期間等	催物の実績等	後援・推薦の効果等
1	令和6年 2月13日	後援 (継続)	尾張瀬戸武田信玄古城再建プロジェクトチーム 山田 美和	瀬戸武田信玄公歴史探索ブ チイベント開催	山口連区自治会憩いの家 令和6年2月11日(日)	参加人員：9人 入場人員：6人	後援により中目新聞にイベント案内が開催された。 新規参加者予想を上回り6名参加に至った。
2	令和6年 2月19日	後援 (継続)	名古屋法務局 愛知県人権 擁護委員連合会 愛知県人 権啓発活動ネットワーク協 議会 株式会社中日新聞社 部長 坂 佳恭 / 会長 宮前 隆文	第51回人権を理解する作 品コンクール	表彰式及び展示会：名鉄百貨 店本店 令和5年10月16日(月)～ 令和6年2月13日(火)	応募校数：1089校 応 募総数：253,565点 入 賞作品展示会入場者数： 5836人	県内の小・中学校等1,089校から、ポスター、書道、 標語の各部門に総数253,565点の応募があり、本コン クールを通して豊かな人権感覚を身につけてもらう との初期の目的は十分達成された。
3	令和6年 2月22日	後援 (継続)	愛知県吹奏楽連盟・朝日新 聞社 伊藤 宏樹	愛知県アンサンブルコンテ スト(高等学校の部)県大会	瀬戸市文化センター 文化ホ ール 令和6年1月28日(日)	参加人員：288人 入場人員：699人	広報活動が行いやすくなった。
4	令和6年 2月29日	後援 (継続)	瀬戸商工会議所 会頭 河村 誠悟	第10回せとやきつづ検 定・第3回せとやきつづブ レミアム検定	瀬戸商工会議所 令和5年10月2日(月)～令 和6年3月29日(金)	参加人員：22人	瀬戸市内の小中学生にせとやきつづ検定・せとやき つづブレミアム検定を広く周知することができた。合 格者には、校長先生から直接朝礼等にて合格証書を伝 達授与していただいた。
5	令和6年 3月4日	後援	パパママキャンパス 加藤 伸之	キッズプログラミング体験 & ママネー講座	パルティセと 令和6年2月24日(土)	参加人員：73人 入場人員：73人	児童生徒へ広くお知らせすることができた。
6	令和6年 3月5日	後援 (継続)	瀬戸市公民館協議会 会長 加藤 和守	令和5年度瀬戸市公民館作 品展 同時開催 舞台発表 会・瀬戸市公民館大会 記念 講演 芸人・オレンジ 田中 哲也「お笑いコミュニケー ション」	瀬戸蔵 令和6年2月10日(土)～令 和6年2月11日(日)	参加人員：210人 入場人員：523人	公民館事業は生涯学習、社会教育など幅広い世代が 学ぶ施設であり、後援により子どもから大人まで広く 広報できたことで作品展では絵画や手工芸品、生け花 など多種多様な作品を多くの子どもと大人が一緒に 鑑賞していた。舞台発表会では、子どもと大人が一緒 になってダンスや和太鼓を披露し楽しむことができ た。

催物の後援・推薦に係る実績報告書

7	令和6年 3月11日	後援 (継続)	一般社団法人 おやこラボ 小原 菜奈	こどもの未来応援講座	パルティセと 令和6年1月11日(木)・令 和6年1月23日(火)	参加人員：10人 入場人員：12人	後援を取得しなかった時よりも参加人数が増えた。
8	令和6年 3月11日	後援 (継続)	ヒューマンアカデミージュ ニア名古屋支部 沼 夏樹	プログラミング体験会	瀬戸共栄通教室 (マナビー) 令和6年1月6日(土)～令和 6年2月17日(土)	参加人員：12人 入場人員：24人	児童にイベントを広く案内することができた。
9	令和6年 3月11日	後援 (継続)	尾張瀬戸武田(信玄古城再建 プロジェクトチーム 山田 美和	瀬戸武田信玄公歴史探索ブ チイベント開催	山口連区自治会憩いの家 令和6年3月10日(日)	参加人員：9人 入場人員：5人	後援推薦により中日新聞にイベント案内が記載さ れた。その為、新規参加者予想を上回り5名参加に至 った。告知を強化したら、確実に人が集まると確信し た。
10	令和6年 3月18日	後援 (継続)	瀬戸メサイア合唱団 岩波 健夫	瀬戸メサイア合唱団 第1 8回チャリティコンサート	瀬戸市文化センター 令和6年2月25日(日)	参加人員：33人 入場人員：500人	演奏会の信頼度が増した。
11	令和6年 3月23日	後援	聖霊中学・高等学校 和太 鼓部 学校長 マイケル・リンズ トロム	南山学園聖霊中学・高等学 校 和太鼓部&箏曲部演 奏会「暁(あかつき)」	瀬戸市文化センター文化ホー ル 令和6年3月22日(金)	参加人員：59人 入場人員：252人	後援をいただき、瀬戸市のデザイナーサービスや公民館、 道の駅など、多くの市民の方に周知することができま した。
12	令和6年 3月26日	後援	未来の菱野団地をみんなで つくる会 会長 伊藤 勉	第1回こどもサミット	ひしのミナクル 令和6年3月20日(水・祝)	参加人員：24人 入場人員：約50人	学校から tetoru によってチラシを配布いただいた ことにより、保護者の参加も多くなりました。

※「参加人員」…主催者を除く事業への参加者数

※「入場人員」…催物の一般入場(来場)者数

学校区

校区外通学
(令和6年度新入学受付分)
申請人数【小学校】R5.09.05

	陶原小	效範小	水野小	水南小	幡山東小	幡山西小	下品野小	品野台小	掛川小	長根小	原山小	東山小	萩山小	八幡小	西陵小	にじの丘	合計
陶原小																	
效範小																	
水野小																	
水南小																	
幡山東小																	
幡山西小																	
下品野小																	
品野台小																	
掛川小																	
長根小																	
原山小																	
東山小																	
萩山小																	
八幡小																	
西陵小																	
にじの丘小																	
合計																	

希望校

隣接学校選択制(令和6年度入受付分) 申請人数【中学校】 R5.09.05		学校区									
		水無瀬中	南山中	幡山中	品野中	光陵中	水野中	にじの丘中	合計		
水無瀬中	新1年生			13	0	0	11	0	0	0	24
	転居等		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		0	13	0	0	11	0	0	0	24
南山中	新1年生	13		0	0	1	0	2	0	0	16
	転居等	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	13		0	0	1	0	2	0	0	16
幡山中	新1年生	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	転居等	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0		0	0	0	0	0	0	0	0
品野中	新1年生	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	転居等	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0		0	0	0	0	0	0	0	0
光陵中	新1年生	1	0	4	0	0	0	0	0	0	5
	転居等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1	0	4	0	0	0	0	0	0	5
水野中	新1年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	転居等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
にじの丘中	新1年生	1	3	0	0	1	1	1	0	0	6
	転居等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1	3	0	0	1	1	1	0	0	6
合計	新1年生	15	3	17	0	13	1	2	1	0	51
	転居等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	15	3	17	0	13	1	2	1	0	51

単位:人

令和5年度 瀬戸市教育支援委員会 事業報告

- 4月28日(金) 第1回瀬戸市教育支援委員会
5月 2日(火) 第1回校内教育支援委員合同(オンライン)
5月 9日(火) 校長会会議(特別支援教育についての内容)
6月 ~ 7月 校内教育支援委員会の開催
7月27日(木) 校内教育支援委員会の所見等書類提出
9月20日(水) 瀬戸市教育支援委員会準備会(学校関係)
9月28日(木) 第2回瀬戸市教育支援委員会(在学児童生徒の判断)
10月 ~ 11月 就学時健康診断の実施(各小学校)
10月13日(金) 第2回校内教育支援委員合同会議
11月22日(水) 第3回瀬戸市教育支援委員会(新学齢児、在学児童生徒二次判断)
11月22日(水) 第1回教育支援状況報告(在学児童生徒) ≪各校校内教育支援委員≫
12月上旬 県立特別支援学校への就学者通知送付 ≪市教委≫
12月12日(火) 各校へ児童生徒教育支援個表を送付 ≪市教委≫
1月16日(火) 第2回教育支援状況報告 ≪各校校内教育支援委員≫
2月15日(木) 第4回瀬戸市教育支援委員会
(新学齢児二次判断、在学児童生徒三次判断)
2月29日(木) 第3回教育支援状況報告 ≪各校校内教育支援委員≫

令和6年度 瀬戸市教育支援委員会 事業計画

- 4月18日(木) 第1回瀬戸市教育支援委員会
4月30日(火) 第1回校内教育支援委員合同(オンライン)
5月 8日(水) 校長会会議(特別支援教育についての内容)
6月 ~ 7月 校内教育支援委員会の開催
7月25日(木) 校内教育支援委員会の所見等書類提出
9月27日(金) 瀬戸市教育支援委員会準備会(学校関係)
10月 3日(木) 第2回瀬戸市教育支援委員会(在学児童生徒の判断)
10月 ~ 11月 就学時健康診断の実施(各小学校)
10月18日(金) 第2回校内教育支援委員合同会議
11月21日(木) 第3回瀬戸市教育支援委員会(新学齢児、在学児童生徒二次判断)
11月21日(木) 第1回教育支援状況報告(在学児童生徒) ≪各校校内教育支援委員≫
12月上旬 県立特別支援学校への就学者通知送付 ≪市教委≫
12月10日(火) 各校へ児童生徒教育支援個表を送付 ≪市教委≫
1月16日(木) 第2回教育支援状況報告 ≪各校校内教育支援委員≫
2月13日(木) 第4回瀬戸市教育支援委員会
(新学齢児二次判断、在学児童生徒三次判断)
2月27日(木) 第3回教育支援状況報告 ≪各校校内教育支援委員≫

◆令和6年度 まちづくり協働課 事業計画◆

1 家庭教育・生涯学習推進事業

- ・民踊講習会 【令和6年6月26日（水）】
- ・夏休み子ども宿題チャレンジ講座 【学びキャンパスせと 7月・8月】
- ・親子参加型の生涯学習講座 【秋頃予定】
- ・品野の森里山学校 【秋頃予定】

2 地区公民館活動推進事業

各地域における生涯学習の機会を増やし、地区の特色ある公民館活動を推進する。

- (1) 地区公民館生涯学習補助事業 【令和6年5月～令和7年2月】
- (2) テーマ型生涯学習 【令和6年6月～令和7年2月】
- (3) 令和7年二十歳を祝う会 【令和7年1月12日（日）】

3 学びキャンパスせと

- 前期講座【5月～9月】・後期講座 【10月～3月】
- 夏休み子ども宿題チャレンジ講座 【7月・8月】（再掲）
- 市民講座フェス～1day ミニ講座～ 【令和7年2月1日（土）】

令和6年度 スポーツ課活動予定について

1. 第74回瀬戸市民スポーツ大会
(1)競技期間:令和6年4月27日(土)～令和7年3月2日(日)
(2)総合開会式
日時:令和6年5月26日(日)午前8時20分
場所:瀬戸市民公園
 2. 市民スポーツデー
日時:令和6年10月14日(祝)
場所:瀬戸市民公園
 3. 第17回愛知県市町村対抗駅伝競走大会
日時:令和6年12月7日(土)
場所:愛・地球博記念公園
 4. 第73回瀬戸地方近郊駅伝競走大会
日時:令和6年12月15日(日)
場所:瀬戸市内
 5. 瀬戸市スポーツ功労者等顕彰表彰式
日時:令和7年3月2日(日)
場所:瀬戸蔵つばきホール
 6. 瀬戸市スポーツ交流大会
日時:令和7年3月8日(土)
場所:瀬戸市体育館第1競技場及び第3競技場
 7. その他
年間を通じて、瀬戸市スポーツ協会加盟団体による各種大会及び教室を予定。
- ※日程はすべて予定のため、変更となる可能性があります。

令和6年度 瀬戸市スポーツ協会 小中学生大会一覧表

競技名	大会名	開催日	予備日	会場	参加資格	参加料(教室参加料はスポーツ安全保険料を含む)
陸上競技	小学生長距離継走大会	R7/3/1(土)	R7/3/8(土)	市民公園 陸上競技場	小学生	-
	中学生選手権大会	4/20(土)	4/27(土)	市民公園 A・Bテニスコート	中学生(係から中学校へ案内)	-
ソフトテニス	中学生新人大会	8/24(土)	8/25(日)	市民公園 A・Bテニスコート	中学生(係から中学校へ案内)	-
	瀬戸近郊中学生新人大会 団体戦	9/21(土)	9/22(日)	市民公園 A・Bテニスコート	中学生(係から中学校へ案内)	-
	瀬戸近郊中学生新人大会 個人戦	9/22(日)	9/28(土)	市民公園 A・Bテニスコート	中学生(係から中学校へ案内)	-
	中日少年野球大会(中学)瀬戸予選	6/8(土)	~	市内野球場		
	中日少年野球大会(学童)瀬戸予選	5/25(土)	~	市内野球場		
軟式野球	愛知県学童軟式野球瀬戸予選	7/13(土)	~	市内野球場		
	愛知県学童新人戦瀬戸予選	7/27(土)	~	市内野球場		
	全日本少年野球春季大会(中学)瀬戸・尾張旭・長久手地区大会	8/24(土)	~	市内野球場		
	尾張学童軟式野球大会	8/24(土)	~	市内野球場		
	尾張東部少年軟式野球瀬戸地区大会	4/29(月)	~	市内野球場		
	愛知県学童新人戦軟式野球ブロック大会	5/3(金)	~	市内野球場		
	全日本学童軟式野球大会瀬戸予選	11/4(月)	~	市内野球場		
	松本杯争奪少年剣道大会	4/21(日)	-	市体育館 第1競技場	市内小学生	800円
	尾張東地区中学校対抗剣道大会	8/31(土)	-	市体育館 第1競技場	瀬戸地区(瀬戸・尾張旭・長久手・日進・真郷)	1予—ム 4,000円
	中学生剣道交流大会	12/21(土)	-	市体育館 第1競技場	県内中学生	無料
剣道	瀬戸地方中学校剣道選手権	R7/3/9(日)	-	市民公園 武道館	連盟会員	無料
	瀬戸地方中学生学年別卓球大会	6/22(土)	-	市体育館 第1競技場	瀬戸・尾張旭・長久手市に在住・在学	500円
卓球	瀬戸地方中学生卓球選手権大会	8/25(日)	-	市体育館 第1競技場	瀬戸・尾張旭・長久手市に在住・在学(1・2年生)	500円
	瀬戸地方中学校団体卓球選手権大会	10/27(日)	-	市体育館 第1・2競技場	瀬戸・尾張旭・長久手市に在住・在学	1予—ム 1,500円
	瀬戸地方中学生ダブルス卓球選手権大会	R7/1/26(日)	-	市体育館 第1競技場	瀬戸・尾張旭・長久手市に在住・在学の1・2年生(3年生は一般)	1組 1,000円

	瀬戸地方中学校バレーボール大会	4/20(土)	-	市体育館 第1・3競技場	瀬戸市・尾張旭市の中学生	無料
バレーボール	瀬戸地方秋季中学校バレーボール大会	9/28(土)・ 10/5(土)	-	市体育館 第1・3競技場	瀬戸市・尾張旭市の中学生	無料
	瀬戸地方中学校バレーボール大会1年生	R7/1/13(月)	-	市体育館 第1・3競技場	瀬戸市・尾張旭市の中学生	無料
	瀬戸地方中学生バスケットボール選手権大会	5/3(金)・4(土)	-	市体育館 第1・3競技場	瀬戸市・尾張旭市中学生	5,000円
	ミニバスケットボール夏季大会	7/27(土)・28(日) 8/3(土)・4(日)	-	市体育館 第1競技場	市内小学生	5,000円
バスケットボール	瀬戸地方中学校バスケットボール 新人大会	10/6(日)・12(土)・13(日)	-	市体育館 第1・3競技場	瀬戸市・尾張旭市中学生	5,000円
	瀬戸地方中学生ウィンターカップ	R7/1/18(土)・25(土)	-	市体育館 第1・3競技場	瀬戸市・尾張旭市中学生	5,000円
	瀬戸地方ミニバスケットボール冬季大会	R7/2/8(土)・9(日) 11・(火・祝)・15(土)	-	市体育館 第1競技場	市内小学生	5,000円
	小学生サッカー大会新人戦	4/20(土)	~	市民公園 陸上競技場	加盟チーム	-
	瀬戸地方中学生サッカー(U-15)大会兼東尾張瀬戸地区予選大会	4/20(土)	~	市民公園 陸上競技場	瀬戸地方中学生	-
	小学生サッカー大会	9/1(日)	~	市民公園 陸上競技場	3年生~6年生の市内小学生	1チーム 4,000円
サッカー	瀬戸地方中学生サッカー(U-14)大会 兼東尾張サッカー瀬戸地区予選	11/9(土)	~	市民公園 陸上競技場	瀬戸地方日本サッカー協会登録チーム	-
	瀬戸地方中学生U-13大会兼東尾張地区瀬戸予選大会	12/21(土)	~	市民公園 陸上競技場	瀬戸地方日本サッカー協会登録チーム	-
	瀬戸地方小学生サッカー大会	R7/1/13(月)	~	市民公園 陸上競技場	3年生~6年生の瀬戸地方小学生	1チーム 4,000円
	瀬戸市小学生サッカー交流大会	5/11(土)	-	市民公園 陸上競技場・市内小学校	-	-
	サッカー協会長杯兼チャンピオンカップ小学生サッカー大会	R7/3/8(土)	-	市民公園 陸上競技場	協会加盟チーム	-
	小学生U10CUP	未定	-	未定	協会加盟チーム	-
	サッカー協会長杯 兼 チャンピオンカップ中学生サッカー大会	R7/3/15(土)	-	市民公園 陸上競技場	協会加盟チーム	-
	瀬戸地方中学生サッカー(U-15)東尾張大会決勝	6/1(土)	-	市民公園 陸上競技場	瀬戸地方日本サッカー協会登録チーム	-

6年第16号議案

瀬戸市教育支援委員会委員の委嘱について

瀬戸市教育支援委員会委員として次の者を委嘱する。

令和6年4月11日提出

瀬戸市教育委員会

教育長 加藤 正彦

1 委員

別添のとおり

2 任期

令和6年4月15日から令和7年4月14日まで

(理由)

この案を提出するのは、瀬戸市教育支援委員会委員を委嘱するにあたり、教育委員会の議決を求めるため必要があるからである。

6年第17号議案

瀬戸市指定有形文化財の指定について

瀬戸市文化財保護条例（昭和47年瀬戸市条例第12号）第6条第1項の規定に基づき、次のとおり瀬戸市指定有形文化財として指定するものとする。

令和6年4月11日提出

瀬戸市教育委員会
教育長 加藤 正彦

1 指定文化財

種類	種別	名称	所在地	所有者
有形	美術 工芸品 (彫刻)	木造覚源禅師坐像	瀬戸市定光寺町373 番地	宗教法人 定光寺

(理由)

この案を提出するのは、瀬戸市指定有形文化財（美術工芸品（彫刻））の指定をするに当たり、教育委員会の議決を求める必要があるからである。

令和6年3月8日

瀬戸市教育委員会
教育長 加藤 正彦 様

瀬戸市文化財保護審議会
会長 大塚 英二

瀬戸市文化財の指定について（答申）

令和6年2月8日付、5瀬文第952号にて諮問のありました下記の瀬戸市指定文化財の指定については、別紙事項に示しますように、本市における文化遺産として極めて重要でありますので、瀬戸市文化財保護条例（昭和47年3月31日瀬戸市条例第12号）第6条第1項の規定に基づく市指定文化財として指定することが適当であることを認めます。

記

1 有形文化財（彫刻）

- | | | |
|-----------------|-------------|----------------------|
| (1) 名称および員数 | 木造覚源禅師坐像 | 1 軀 |
| | 附 像内納入物 | 1 式 |
| (2) 所在の場所 | 瀬戸市定光寺町 373 | |
| (3) 所有者の住所および氏名 | 瀬戸市定光寺町 373 | 宗教法人定光寺
代表役員 武山廣道 |

瀬戸市文化財指定答申書

令和6年3月

有形文化財 1件
(美術工芸品 彫刻 1件)

瀬戸市文化財保護審議会

有形文化財

種 別	有形文化財（美術工芸品 彫刻）
名称・員数	木造覚源禪師坐像 1 軀 附 像内納入物 1 式
所在地	瀬戸市定光寺町 373
所有者等	宗教法人 定光寺 代表役員 武山廣道

覚源禪師(平心処斎)と本像の制作年代について

覚源は弘安 10(1287)年に肥前国小味荘(現在の長崎県)で生まれ、嘉暦 3(1329)年に平心の道号を授けられ、建武 3(1336)年に定光寺を開き、文和 2(1353)年に隠居、延文元(1356)年岐阜・長蔵寺を開き、応安 2(1369)年に没した。

本像は像内諸資料によれば、貞治 5(1366)年、大仏師「良口」によって造られた。この時期、覚源はすでに定光寺を離れており、定光寺には覚源が文和 2 年に隠居した時に頂相を描かせたことが知られており、覚源が定光寺を去るにあたり彫像を残したものと考えられる。没後頭頂を開けて遺品や遺骨を納入したのであろうか。頭頂には内面から頂部を割り矧いだ形跡がある。ちなみに禪師没年の翌年には、定光寺の衆が新たな頂相を造って長蔵寺に安置し、今日に至る。

木造覚源禪師頂相について

[形状]

形状は、剃髪 of 僧形。顔を前に向け、僧衣に袈裟をかけて曲糸に坐して、前面に裳先と両袖を垂らす。両手は腹前に屈し、掌を重ねて定印を結ぶ。

[法量]

像高 82.6cm (総高 118.5 cm)、面幅 15.4 cm、膝張 61.6 cm、膝奥 53.6 cm、裳裾(袖)張 71.8 cm。

[構造]

桧材寄木造。内刳り、玉眼嵌入。彩色。

構造は頭体別材で、頭部は前後二材からなり、前面材は襟内の胸を含み、後面材は首下を丸く削り、首柄とする。体部は両体側部を含み前後三材で、各左右三材からなり、その両側に膝奥部前後二材を矧ぐ。また、両脚前面材の下に裳垂下部を上下二材、両側前面に袖各一材を矧ぐ。その他、両袖口部を剥ぎ、これに両手部一材を矧ぐ。文様は盛り上げて丸文を描き、金泥を施す。

[像内納入物]

像内(頭部内刳内)に以下の納入物がみられる。

1) 面部下半部の紙包み

・厨子入阿弥陀三尊像

桧材、素木仕上、光背は銅板鍍金。

像高 中尊 2.4 cm、十一面観音 2.9 cm、不動明王 3.1 cm

・仏舎利伝来記「高野山智荘巖院佛舎利事」貞治四年(1365)記

2) 眉間の内側に彫られた孔の中の紙包み

・ガラス様の小玉(仏舎利)約 3 粒(破損)

・粉状の塊(剃られた毛髪)

3) 玉眼の当て紙ほか

・「大佛良口(花押) 貞治五年」の墨書ある紙片

他に内剝面に仏師のものと思われる花押二字あり。

4) 像底板上の落下物中

- ・骨片入りの小竹筒 2 点（頭部紙包みから落下か）
- ・銭貨 2 点（「寛永通宝」1、「文久通宝」1 江戸時代以降の納入物あるいは賽銭等の混入物とみられる）

伝来記は、高野山伝来の舍利が、正平 5(=感応元、1350)年朝遍、慈淵を経て石門に伝えられ、さらに貞治 4(1365)年に石門から仲山に伝えられたと記す。納入舍利はその一部であろう。一方、岐阜長蔵寺の舍利塔には覚源が円覚寺から分与された舍利が納められていると伝えられる。

[備考]

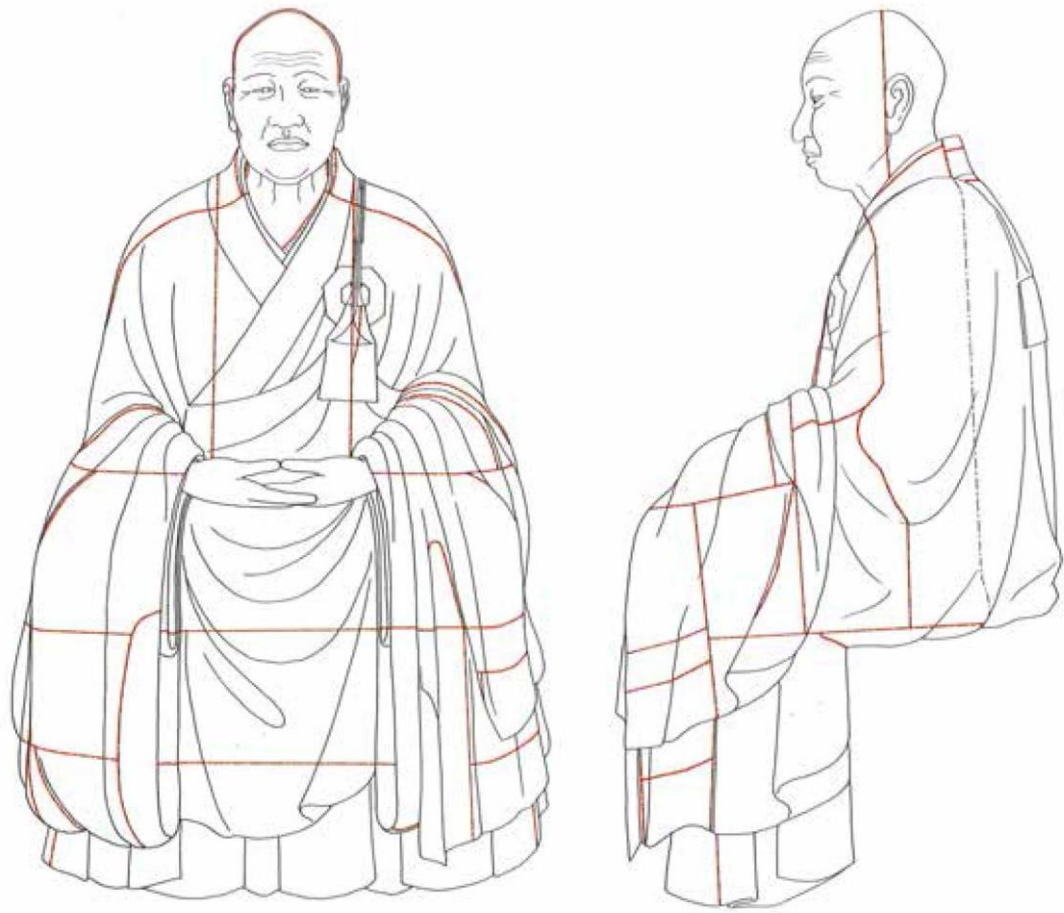
体部の造形はやや型どおりの観を否めないが、体の構えには安定感があり、衣文もゆったりとして堅実な作風を示す。頂の尖った頭部概形や大きな鼻、受け口の唇からなる面貌の迫真性は出色で、平心処齊の峻烈な禅風を感じさせる。

定光寺本尊には院派周辺の仏師によるかと思われる本尊地藏菩薩像があり、本像も院派系の作品と推定されるが、「良」のつく仏師は知られていない。しかし本像の厳格なまでに精緻な造形性は当代一流仏師のものであろう。

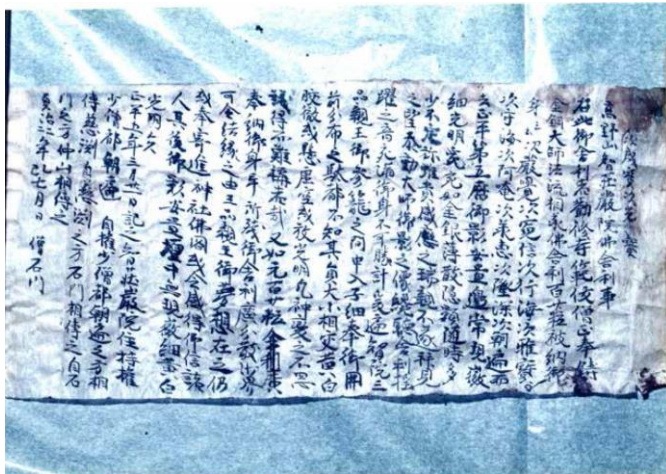
したがって本件は、瀬戸市文化財保護条例第 2 条第 1 号でいう「有形文化財」に該当し、瀬戸市教育委員会が、同条例第 6 条第 1 項に基づき、「瀬戸市指定有形文化財」に指定することが適当であると認められる。



木造覺源禪師(平心処齋)坐像



木造覚源禪師(平心処齋)坐像 矧ぎ目図



頭部納入文書「高野山智莊嚴院佛舍利事」



頭部納入檀像
「厨子入阿弥陀三尊像」

令和6年5月 教育委員会日程表

日	曜日	件 名				
1	水					
2	木					
3	金					
4	土					
5	日					
6	月					
7	火					
8	水					
9	木					
10	金					
11	土					
12	日					
13	月					
14	火					
15	水					
16	木	定例教育委員会事前打合せ 定例教育委員会	瀬戸市役所3階 瀬戸市役所4階	301会議室 大会議室	午後1時30分～ 午後2時00分～	全委員
17	金					
18	土					
19	日					
20	月					
21	火					
22	水					
23	木					
24	金					
25	土					
26	日					
27	月					
28	火					
29	水					
30	木					
31	金					

6月6日(木) 定例教育委員会事前打合せ 瀬戸市役所3階 301会議 午後1時30分～ 全委員
 定例教育委員会 瀬戸市役所4階 大会議室 午後2時00分～

つくる まなぶ 体験する

まるごと 体験 ワールド

2024.8/8(木)
~~2023.8/9(水)~~

ものづくりを
体験しよう!

©美プロ

パソコン <https://youtu.be/2VYtiA-f0Bo>



スマホ
昨年の
動画が
見れます

主催

AIT 愛知工業大学

後援

豊田市教育委員会
みよし市教育委員会
瀬戸市教育委員会
長久手市教育委員会

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

愛知工業大学は持続可能な開発目標「SDGs」の趣旨に賛同し、教育・研究を通じて地域社会の課題解決に取り組んでいます。

瀬戸ファミリーシンガーズ チャリティーコンサート

＜オリジナルミュージカル＞

あなたと出会えた奇跡

～いのちの大切さを伝える愛の物語～

2024.4.6(土)

13:30開演(13:00開場)

瀬戸市文化センター

文化ホール

入場無料

第1部

～音楽の力を信じて～

オリバーのマーチ
三百六十五歩のマーチ
あすという日が
他・・・

第2部

オリジナルミュージカル
『あなたと出会えた奇跡』

しあわせになあれ
買ってください
ありがとうのじ
他・・・

～あらすじ～

自然豊かな森に生まれた
妖精の王子 エリー
羽は折れ 身体は弱いけれど
笑顔と優しい心を持ち
家族や仲間たちに囲まれ
心豊かに成長しています
ところが その豊かな森を
羨む闇の精たちが・・・

私たちと一緒に
いのちの大切さについて
考えてみませんか？
親子でご覧いただきたい
感動のミュージカルです
ぜひご来場ください



YouTube生配信↑
アーカイブ配信URL



♪瀬戸ファミリーシンガーズ♪

2010年4月結成。4歳から大人までのメンバー約70名が活動中。聴いてくださる方の心に響く感動をよぶ歌を届けられるように練習を重ねている。これまで12回のチャリティーコンサートを開催。オリジナルミュージカルを上演し元気な歌声とダンスは好評を得ている。

また、老人福祉施設慰問やイベントへの参加を精力的に行い地域に貢献できる合唱を目指している。シンガーズのボランティア団体としてのこれまでの功績がみとめられ第67回愛知県社会福祉大会にて『愛知県社会福祉協議会会長感謝状』をいただきました。

代表 小山麻衣



◆今回のコンサートで集まりました募金は、日本赤十字社を通して『令和6年能登半島地震災害義援金』に寄付いたします。

◆「瀬戸市文化センター」へのアクセス
〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町 113-3 / 電話 0561-84-1811
・当コンサートについてのホールへのお問い合わせはご遠慮ください

◆お問い合わせ：代表 小山麻衣
電話 090-1295-0487 / メール seto_familysingers@yahoo.co.jp

◆主催：瀬戸ファミリーシンガーズ

詳しくはブログを『瀬戸ファミリーシンガーズ』で検索
https://blog.goo.ne.jp/seto_familysingers
または、右記QRコードより読み取り下さい
※コンサート開催についての変更点や最新の情報は
シンガーズブログにて随時お知らせいたします



瀬戸武田信玄公 歴史探索プチイベント開催



織田信長と決戦の前、武田信玄はこの世を去った。信玄の死を隠し、影武者を立て戦うことになった武田軍。終焉地を隠したため現在まで信玄の墓は不明である。信玄の死から450年、信玄終焉地の謎に迫る。

歴史探索プチイベント内容

日 時：令和6年4月14日(日) 10:00~12:00★

集合場所：山口憩いの家

内 容：4月イベント★
①物見山、信玄滝、物見山城跡探索



@OWARISETOFURINKAZAN

参加費：500円（会員の方は無料）
参加申込：氏名、住所、電話番号、参加日、「歴史探索参加希望」と明記のうえ下記mailまで送信ください。
mailアドレス shingen1103.seto@gmail.com

開催団体：瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会会員
尾張瀬戸武田信玄古城再建プロジェクトチーム

チラシ(案)

第63回 せと陶祖まつり

青年部・女性会ブース

オ리지ナル缶バッジ

友達と一緒に写真を撮って、オリジナル缶バッジを作ろう！

1回 200円



ポテイシール

腕や顔にシールを貼って、お祭り気分UP↑

大1枚 200円
小1枚 100円



ハーパーカム

押し花を使って、かわいいハーパーカムを作ろう！

1個 500円

1日50個 限定!!



日時 **4/20(土)・21(日)** 10:00~16:00
※受付終了15:30

場所 **パルティせと 駅前広場**

呉須染付け体験

心も瀬戸色に染まろう！

1回 500円

呉須という絵具を使って、素焼き茶碗に筆で自由に絵や模様を描こう！

大人も子供も楽しめるよ！
※焼き上がり後のお渡しは、6月1日(土)、2日(日) 発送の場合は増料にて承ります。



特製オリバー ステツカーラゼント

先着 200名様

かわいひい・かつこいひいシールがたくさんあるよ!!

瀬戸市のヒーロー 陶神オリバーが やってくるよ!!



陶神オリバーが 4月20日(土)のみ やってくる!!

主催 **瀬戸商工会議所青年部**

共催 **瀬戸商工会議所女性会**

協力 **株式会社 現原園**

問合せ先 **瀬戸商工会議所 青年部事務局**

TEL **0561-82-3123**

後援 **瀬戸市教育委員会**

瀬戸商工会議所青年部・女性会 新規会員募集中!

青年部 HPはこちら▶



No.	学校名	校 長	教 頭	教務主任	校務主任	事務職員	
						主事	主任
1	陶 原 小	山中 晶貴	藤巻 躍	加藤 博樹	小山 祐生	主事	夙住実央菜
2	效 範 小	鈴木かおり	大崎 和憲	林 裕美	中谷 潤	主事	嬉野 沙織
3	水 野 小	有田 隆之	羽間 弘美	佐藤 有	箕浦 梨恵	主任	大津衣里加
4	水 南 小	伊藤 嘉浩	伊藤 洋子	一川 裕司	半崎 寛之	主任	井上 輝彦
5	幡 山 東 小	藤井 奈保	大成 康臣	鬼頭 康平	加藤 暁	主査	中垣 高広
6	幡 山 西 小	福留 正康	服部 智志	加藤 秀子	竹内 俊文	主任	小林 寛子
7	下 品 野 小	水野 征子	尾崎 敦	宮本 圭子	稲葉 結	臨任	西尾あずさ
8	品 野 台 小	水野 英紀	水野 朗	安田 純也	伊藤 寛子	再主任	竹田 真啓
9	掛 川 小	中川 真紀	松本 正和	坂田 実	世古 篤	主任	渡邊 景子
10	長 根 小	三宅 勝之	秋江 聡	長谷川 良	浅岡 良行	主任	西尾 縁
11	原 山 小	中村 公城	松田 善幸	矢壁 彰太	加藤 大輔	再主任	水野 伸隆
12	東 山 小	野田 敬資	藤本 素子	山本 倫生	安江 直美	事務長	渡邊由利子
13	萩 山 小	水谷なぎさ	大島 明子	左近 政彦	寺尾 卓司	主事	小杉 祥那
14	八 幡 小	加藤 篤	春名 真奈	大脇 拓也	竹内 拓也	主事	田中 紀大
15	西 陵 小	弓削恵理子	吉永 英司	佐脇 良	伊藤 祐規	主任	太田 哲央
16	にじの丘小	福田 充哉	深谷 大輔	水野 廣貴	近藤 義晃	総括事務長	中原由美子
				主幹：伊藤 健		主任	小野寺友佳子
21	水無瀬中	中川 真人	梶野 知洋	日垣 勇士	松浦 充	主任	開 真弓
						主事	高橋 英喜
22	南山中	沖本 千門	梶田 宗生	谷村 仁史	河村 心平	主査	大澤 和恵
				主幹：加藤 直樹		主事	小森 章弘
23	幡 山 中	梶田 明敬	岡田 照明	磯村 寛	古村 高志	主査	大森 侑里
24	品 野 中	加藤 弓子	大澤 周平	谷口 定夫	高橋 俊也	主任	會田 祐子
25	光 陵 中	佐合 浩史	川本 聰	藤本 和徳	須田 憲二	主査	植田 浩美
26	水 野 中	松岡 辰也	川地 晴代	小川 卓也	高田 佳明	主査	長谷川清美
27	にじの丘中	勝谷 晋也	横山 篤	中澤 隼	大澤亜希子	再主任	竹内 拓志
31	瀬戸特別支援	佐藤 一雄	大野喜弥子(萩) 伊多ゆかり(光) 小学部主事 松岡 良晃 中学部主事 秋山 香織 高等部主事 丹羽 誠	小学部教務 正木 宏樹 中学部教務 大須賀康泰 高等部教務 矢部 純子	総務主任 堀尾 文枝	主査 主任 主査	朝日 建策 松井 政徳 佐藤 舞

共同実施グループ構成 (アンダーライン=室長)

南山G 品野・水野G 水無瀬中・にじの丘G 幡山・光陵G 瀬戸特別支援G
 大澤 和恵 長谷川清美 中原由美子 中垣 高広 朝日 建策

令和6年度 主任主事等発令・解任一覧表 令和6年4月1日

No.	学校名	教務主任		校務主任		保健主事		事務主任	生徒指導主事		進路指導主事		司書教諭	
		発令	解任	発令	解任	発令	解任	発令	発令	解任	発令	解任	発令	解任
1	陶原小	加藤博樹				左近彩乃	唐田恵美							古田夏美
2	效範小	林 裕美		中谷 潤		宇佐美真人	高木里美							
3	水野小			箕浦梨恵										
4	水南小	一川裕司		半崎寛之	一川裕司	松本隆太郎	山田由希子							菱田紗永
5	幡山東小	鬼頭康平		加藤 晁		橋本みさぎ	渡邊泰恵							
6	幡山西小					児玉綾子								成瀬朱莉
7	下品野小	宮本圭子	尾崎 敦	稲葉 結	宮本圭子	永井公美								
8	品野台小	安田純也		伊藤寛子	安田純也	森宮貴子	掛野友美							
9	掛川小			世古 篤		二瓶由美子	寺島 絢							
10	長根小					山田貴子								
11	原山小	矢壁彰太	松田 善幸	加藤 大輔					未吉孝次					新井奈央美
12	東山小			安江直美										
13	萩山小													
14	八幡小	大脇拓也												
15	西陵小	佐脇 良												
16	にじの丘小													
21	水無瀬中													
22	南山中	谷村仁史		河村心平	谷村仁史	下尾直矢	土生利恵							
23	幡山中	磯村 寛		古村高志	磯村 寛									迫聖
24	品野中	谷口定夫	大澤 周平						西尾拓	飯野裕司	北原照生	谷口定夫		
25	光陵中	藤本和徳				遠藤史章	濱島崇志		長船アキラ有	天野陽子				
26	水野中	小川卓也		高田佳明	小川卓也						名倉正成	井上達矢		西村奈香子
27	にじの丘中								田辺匡					山本達也
31	瀬戸特別支援													
31	瀬戸特別支援													

新主任養護教諭

令和6年4月5日現在

令和6年度 児童生徒・学級・教員 見込数一覧

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級児童生徒数						小計 人数	R5 人数	総計		増減 組	教員数	増減	
	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	1年	2年	3年	4年	5年	6年			人数	増減				
1 陶原小	67	2	56	2	84	3	71	3	83	3	88	3	0	0	1	2	0	2	5	2	454	▲29	18	24.5	▲1.0	
2 效範小	85	3	74	3	78	3	91	3	74	3	109	4	1	2	3	3	4	16	6	527	▲12	25	33.0	1.0		
3 水野小	78	3	88	3	66	2	81	3	77	3	75	3	2	4	3	1	1	4	4	487	▲7	21	28.0	0.0		
4 水南小	62	2	54	2	67	2	80	3	83	3	81	3	1	1	1	1	0	3	7	444	▲10	17	23.5	0.0		
5 幡山東小	99	3	110	4	102	3	101	3	86	3	89	3	3	2	1	6	3	2	17	4	604	6	23	31.5	0.0	
6 幡山西小	102	3	97	3	81	3	108	4	86	3	86	3	0	2	3	4	4	4	17	4	577	▲3	23	31.0	1.0	
7 下品野小	58	2	39	2	54	2	63	2	64	2	62	2	1	1	5	0	1	4	12	3	352	▲14	15	23.5	1.0	
8 品野台小	6	1	16	1	22	1	15	1	11	1	20	1	1	1	1	1	1	2	7	4	97	▲4	10	14.5	2.0	
9 掛川小	2	1	1	1	2	1	1	1	3	1			0	0	0	2	3	0	5	2	14	1	5	9.0	0.0	
10 長根小	65	2	68	2	75	3	92	3	75	3	86	3	0	3	3	3	1	1	11	3	472	▲28	19	26.5	▲1.0	
11 原山小	39	2	40	2	41	2	31	1	25	1	25	1	0	3	0	1	3	0	7	2	208	12	11	18.5	1.0	
12 東山小	55	2	56	2	50	2	74	3	75	3	65	2	1	4	1	1	2	1	10	2	385	▲48	16	23.5	▲1.0	
13 萩山小	9	1	15	1	9	1	14	1	18	1	13	1	1	0	0	1	0	2	4	3	82	2	9	16.5	1.0	
14 八幡小	20	1	35	1	21	1	30	1	29	1	34	1	1	0	0	1	2	2	6	2	175	0	8	17.0	1.0	
15 西陵小	61	2	64	2	77	3	100	3	106	4	121	4	0	1	4	3	2	3	13	3	542	▲83	21	28.5	▲3.0	
16 にじの丘	158	5	154	5	129	4	134	4	117	4	113	4	3	2	4	5	6	6	26	5	831	53	31	42.0	2.0	
小学校計	966	35	967	35	958	36	1,086	38	1,012	39	1,067	38	15	26	30	35	32	40	178	51	6,056	221	164	272	391.0	4.0
21 水無瀬中	174	5	196	5	185	5													9	4	564	0	19	35.0	▲1.0	
22 南山中	268	8	254	7	255	7													15	5	777	▲18	27	48.5	▲1.0	
23 幡山中	187	6	157	4	165	5													13	3	509	522	13	18	32.0	1.0
24 品野中	83	3	82	3	88	3													5	2	253	258	12	11	24.0	2.0
25 光陵中	48	2	71	2	68	2													3	2	187	190	▲20	8	25.0	1.0
26 水野中	218	7	196	5	167	5													10	3	581	591	26	20	35.5	3.0
27 にじの丘中	111	4	98	3	109	3													6	3	318	324	2	13	28.0	2.0
中学校計	1,089	35	1,054	29	1,037	30													61	22	3,226	3,241	15	116	228.0	7.0
小中合計	9,236	315																	239	73	9,624	9,475	▲149	388	619.0	11.0
31 瀬戸特別支援																			3	6	6	9	5	3		
																			1	6	5	×	×	×		
																			1	6	5	×	×	×		
																			12	4	18	▲153	404	16	6	

1) 複式学級は下位学年に計上。 2) 小1～小6・中1は35人学級。 3) 再任用職員は、フルタイム1.0・パートタイム0.5で計上。
 4) 教員数は、校長・養護教諭・学級対応分・加配分の定数合計であり実人数ではない(拠点校指導員・事務職員・栄養教諭・栄養職員・非常勤講師・用務員等は含まず)。

瀬戸市教育支援委員会 委員名簿

(20名)

(敬称略)

	選任区分	氏名	現職等
1	規則第3条第1項 1号委員 (医学に関する専門知識を有する者)	長江 秀利	青山病院 副院長・小児科部長
2	2号委員 (特別支援教育の関する知識を有する者)	倉田 健二	愛知県立瀬戸つばき特別支援学校 校長
3		中島 史恵	児童発達支援センター センター長兼のぞみ学園長
4		豊田 雅代	児童発達支援センター 副センター長兼発達支援室長
5		藤井 奈保	幡山東小学校 校長
6		沖本 千門	南山中学校 校長
7		佐藤 一雄	瀬戸特別支援学校 校長
8		藤巻 躍	陶原小学校 教頭
9		羽間 弘美	水野小学校 教頭
10		松岡 良晃	瀬戸特別支援学校 小学部主事
11		大脇 拓也	八幡小学校 教務
12		鬼頭 康平	幡山東小学校 教務
13		磯村 寛	幡山中学校 教務
14		安江 直美	東山小学校 校務
15		大澤 亜希子	にじの丘中学校 校務
16		二瓶 由美子	掛川小学校
17		白木 奈美	幡山西小学校
18		伊藤 安耶	水無瀬中学校
19		3号委員 (学識経験者)	古市 真智子
20	川上 雅也		NPO法人サポート&ケア 理事長 椋山女学園大学 人間関係学部人間関係学科 非常勤講師

学校評価報告書及び資料（一部抜粋）

令和5年度

瀬戸市立小中学校・特別支援学校

学校評価アンケート 小中集計

MAX 5 MIN 1

小学校 中学校 小中学校

令和3年度	児童生徒	①あいさつができる。	4.08	4.21	4.13
		②授業の内容がよく分かる。	4.17	3.72	4.02
		③学校に行くのは楽しいと思っている。	4.22	3.95	4.13
		④保護者・地域との連携が充実するように努めている。			
	保護者	①あいさつができる。	3.77	3.71	3.75
		②授業の内容がよく分かる。	3.74	3.08	3.52
		③学校に行くのは楽しいと思っている。	4.24	3.93	4.14
		④保護者・地域との連携が充実するように努めている。	3.72	3.40	3.61
	教職員	①あいさつができる。	2.95	3.50	3.13
		②授業の内容がよく分かる。	3.79	3.79	3.79
		③学校に行くのは楽しいと思っている。	3.99	3.89	3.96
		④保護者・地域との連携が充実するように努めている。	3.90	3.80	3.87

令和4年度	児童生徒	①あいさつができる。	4.10	4.13	4.11
		②授業の内容がよく分かる。	4.12	3.88	4.04
		③学校に行くのは楽しいと思っている。	4.24	4.00	4.16
		④保護者・地域との連携が充実するように努めている。			
	保護者	①あいさつができる。	3.81	3.79	3.80
		②授業の内容がよく分かる。	3.82	3.26	3.63
		③学校に行くのは楽しいと思っている。	4.21	4.06	4.16
		④保護者・地域との連携が充実するように努めている。	3.64	3.57	3.62
	教職員	①あいさつができる。	3.28	3.46	3.34
		②授業の内容がよく分かる。	3.70	3.82	3.74
		③学校に行くのは楽しいと思っている。	4.10	3.92	4.04
		④保護者・地域との連携が充実するように努めている。	3.97	4.00	3.98

令和5年度	児童生徒	①あいさつができる。	4.14	4.12	4.13
		②授業の内容がよく分かる。	4.29	3.80	4.12
		③学校に行くのは楽しいと思っている。	4.23	4.03	4.16
		④保護者・地域との連携が充実するように努めている。			
	保護者	①あいさつができる。	3.82	3.76	3.80
		②授業の内容がよく分かる。	3.86	3.23	3.65
		③学校に行くのは楽しいと思っている。	4.20	3.98	4.13
		④保護者・地域との連携が充実するように努めている。	3.71	3.54	3.65
	教職員	①あいさつができる。	3.19	3.55	3.31
		②授業の内容がよく分かる。	4.03	3.94	4.00
		③学校に行くのは楽しいと思っている。	4.10	3.97	4.05
		④保護者・地域との連携が充実するように努めている。	4.03	4.03	4.03

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立陶原小学校	学校番号	1
-----	-----------	------	---

学 校 経 営 方 針

学校・地域・保護者が「めざす子ども像」を共有し、地域に根ざした学校づくりを推進する

- ・ 全教職員が、地域・保護者・関係機関等と協働し、子どもたち一人一人を大切にしながら、そのよさを伸ばすことのできる（Well-Beingな）学校づくりを推進する。
- ・ 小中一貫教育だけでなく、小小連携、幼保小、地域連携等も推進していく。
- ・ 子どもたちが学ぼうという意欲がわく、美しい環境整備を推進する。

重 点 努 力 目 標

- ・ 美しく整備された学校の環境づくりを行うことで、安心して落ち着いた学校生活を送る基盤づくりを心掛ける。
- ・ 自身の心身の健康に心掛け、健やかな生活を送ろうとする意欲や態度を養う。
- ・ あいさつや礼儀などを大切にし、コミュニケーション能力を向上させる。
- ・ 道徳教育、特別活動、教育相談（あのねタイム）、特別支援教育、福祉教育等の充実を図ることで、子どもたちの自己肯定感を高め、共感的な人間関係を養う。
- ・ 総合的な学習の時間の充実を図り、多様な人々との協働・交流を促すことで、思いやりの心、郷土への誇り、自然や文化への愛情・関心等を養う。
- ・ 「協働型課題解決能力の育成」を図ることで、未来を生き抜く力の基盤となる学びに向かう力・人間性の伸長を図る。
- ・ 基礎・基本を大切にし、学習を通して身に付けた知識・技能を実生活と関連付けたりデジタルとアナログをバランスよく使い分けたりする学習を通して、将来に生かせる主体性や協働性等を養う。

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
美しく整備された学校の環境づくりを行う。	A
児童が自身の心身の健康に心掛けられる取り組みを行う。	B
あいさつや礼儀などを大切に作る取り組みを行う。	B
道徳教育、特別活動、教育相談（あのねタイム）、特別支援教育、福祉教育等の充実を図る。	B
総合的な学習の時間の充実を図る。	A
「協働型課題解決能力の育成」を図る。	B
基礎・基本を大切にし、身に付けた知識・技能を実生活と関連付けたりデジタルとアナログをバランスよく使い分けたりする学習を行う。	B

学 校 関 係 者 よ り (学校運営協議会・PTA等)

学校運営協議会では、今年度、学校の周囲にある施設（瀬戸工科高校、愛厚ホーム、瀬戸警察署等）や近隣の水無瀬中学校や長根小学校、そして、日間賀島にある日間賀小学校との交流学习など、総合的な学習の時間の内容を充実させたことが評価された。

保護者へのアンケートでは、学校と地域、保護者との連携についての評価が昨年度より高まった。今年度、PTA行事や公民館・自治会の行事などへの協力をボランティア形式で行い、「できる人が、できる時に、できることを」を合言葉に改革を推進していることが保護者からも地域からも評価された。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

学校の環境づくりについては、施設設備が古いからと諦めるのではなく、古くてもきれいにしたり整えていくことが大切であるということ念頭に置き、職員作業等で、清掃活動や備品の整理整頓をしたり空き教室の有効活用のための整備をしたりした。

学校や地域の活動に、学校運営協議会（コミュニティスクール）を中心として保護者や地域の方が参加・協力する形ができつつある。ただし、まだまだ認知度が低く、ボランティアの登録者が少ない。地域・保護者と共にある学校を築き上げていくために、まずは一人でも多くの方に知っていただき、協力を呼び掛けていきたい。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立效範小学校	学校番号	2
-----	-----------	------	---

学 校 経 営 方 針

学校教育目標

明るく心豊かな子 自ら考えやり抜く子

【めざす学校像】

子どもの笑顔があふれる学校

重 点 努 力 目 標

自ら課題を発見し、解決に向けて学び合う子の育成

- 心の教育（・道徳教育 ・HST）
- 教科教育（・協働学習 ・基礎基本）
- ICT教育（・遠隔教育 ・プログラミング教育）

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
○心の教育 (児童:HST(ハッピースマイルタイム)が楽しい)79.4% (保護者・教員:学校は心の教育を推進している) 保護者:59.8% 教職員:91.2%	B
○教科教育 (児童:授業の内容がよくわかる)85.1% (保護者・教員:子どもたちは授業の内容をよく理解している) 保護者:81.5% 、教職員:76.5%	A
○ICT教育 (児童:ICT機器を使った授業はわかりやすい)77.6% (児童:学校の授業では、タブレット等のICT機器をよく使っている)82.7% (保護者・教員:学校は、子どもたちがタブレットを活用するように推進している) 保護者:84.4% 教職員:97.1%	A
○ICT教育(遠隔教育) (児童:天草の小学校と交流し学習することは楽しい)93.4%	A

学 校 関 係 者 よ り (学校運営協議会・PTA等)

【地域より】

・アンケートの結果を見て、小学生が地域の人とかかわることに対して肯定的にとらえていることはありがたい。今年度は5年生が空き家清掃を行ってくれて持ち主は喜んでおられた。学校と一緒に地域をきれいにする運動が今後もできればと思う。

【保護者より】

・子ども達の成長は、年間を通して、地域、先生、親が協力して見守っていかなければならない。もちろん親もいろいろな人に支えられていると感じているので、来年度も相互に連携を図りながら協力をお願いしたい。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

児童や保護者からは、学校の教育活動に対しておおむね共感的な声が寄せられた。

今後は、南山中学校区での小中連携の取組や地域との連携活動に関して情報発信の回数を増やし、認知度を上げていきたい。また、それぞれの取組内容を再検討し、持続可能な活動として、地域の課題の解決に向け、地域の人たちと共に取り組んでいきたい。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立水野小学校	学校番号	3
-----	-----------	------	---

学 校 経 営 方 針

教育目標・・・郷土のよさに気づき、郷土を愛し、郷土を大切にする児童の育成
 めざす学校・・・「明るく活力ある学校」
 めざす子ども像・「明るく元気な子」・・・健全な身体の育成
 「深く考え自ら学ぶ子」・・・学力の定着向上
 「思いやりのある子」・・・豊かな心の育成

重 点 努 力 目 標

- ・基礎学力の向上を図るため、T.T.指導や少人数指導を活用する。
- ・基礎・基本の定着のため、学期末に漢字力・計算力のたしかめテストを行う。
- ・指導力向上を目指し、定期的に授業研究を行う。(特に道徳、「聞くこと」の授業研究)
- ・自己の健康状態を理解させ、基礎体力の向上、健康の保持増進のため体育の授業を充実させる
- ・あいさつに力を入れ、時と場合に応じた言動や、基本的な生活習慣の育成を図る。
- ・郷土に関する活動を取り入れ、地域教材・地域人材を活用し郷土を大切にする心を育てる。

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評 価 結 果
①教育活動を行事・通信等で家庭や地域に、適切に知らせる。 (学校公開・学校だより・PTA広報誌・ホームページ等でタイムリーに知らせる。)	92.7 A
②指導の状況や学校の様子を適切に知らせる。 (連絡帳・懇談会・電話・保健だより・生活だより)	79.9 B
③保護者からの連絡に適切に対応する。 (電話対応・連絡帳での対応・家庭訪問・面談)	90.6 A
④児童はすすんで明るいあいさつができています。 (登下校の様子、学校生活の様子、見守りボランティアの報告)	77.9 B
⑤基礎・基本の定着を図り、「わかる授業」を目指し授業研究を進める。 (現職教育・児童理解研修の充実)	86.7 A
⑥生活面の指導、いじめ等の問題に適切な指導を進める。 (教師間の問題の共有・問題の早期発見・保護者との連携)	80.5 A
⑦学校施設・設備等の教育環境整備を適切に行っている。 (安全点検・早期発見・迅速な修理)	93.4 A

学 校 関 係 者 よ り (学校評議員・PTA等)

- ・ ①令和5年7月4日、②12月1日、③2月21日学校評議員会を開催。第3回で学校評価について報告、ご意見を伺う。
- ・ 送迎の車と児童の登校が重なる道があり非常に危険である。
- ・ 授業参加をして、とても落ち着いた状態で授業が行われていた。また、低学年でもタブレットを上手に使っていたことに驚いた。
- ・ 学校行事等、精選して今後継続可能なものにしていく必要がある。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

- ・ 学校の様子や授業の様子や行事などは保護者や地域に知らせることは、アンケートの結果からも十分満足できる評価をいただいているので、これからも継続していきたい。しかし、学習指導や生徒指導については、まだまだ改善の余地がある。
- ・ 避難訓練の実施方法を考え、大規模災害に備えた準備、訓練を計画していかなければならない。
- ・ 教員の現職教育の充実を図り、基礎・基本の定着のための工夫、ICT機器を活用、わかりやすい授業を進めるための工夫についての研修を行う必要がある。多くの子ども達がわかる学習指導をめざしていく。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立水南小学校	学校番号	4
-----	-----------	------	---

学 校 経 営 方 針

「一人一人が輝く学校」を実現するため、一人一人を大切にし、家庭・地域との連携をはかり、健康で自ら学ぶ「かしこい」水南っ子を育む学校づくりを推進する。

<目指す児童像>

- みずから考える子…主体的に意欲を持って学習できる子
- おもいやりのある子…自分が好きで、他と認め合うことのできる子
- たくましい子…健康で前向きに行動できる子

重 点 努 力 目 標

- I 確かな学力の定着
- II 居心地の良い学級・学校づくり
- III 家庭・地域との協働
- IV 9年間を見据えた小中一貫教育の推進
- V 子どもにも教職員にもやさしい環境の整備

- 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
学校は「基礎・基本の確実な定着」に取り組んでいる。	A
学校は考える力・伝える力の育成につとめ、意欲的に深く学ぶ「水南っ子」を育むようにつとめている。	B
学校は一人一人を大切にし、いじめ防止をはじめ人権意識を高め、やさしい心、たくましい心を育む教育活動を行うようにつとめている。	B
学校は保護者・地域との連携が充実するようにつとめている。	A
学校は学級(学年)での活動、学校行事を通して、よりよい人間関係をつくろうとしている。	A
「マメナシ学習」「公民館まつり」などをはじめ地域との連携は水南っ子によりよい影響を与えている。	A

学 校 関 係 者 よ り (学校運営協議会・PTA等)

○保護者・地域との連携について

これまで培ってきた地域力が更に発展してきたことを評価いただいた。コミュニティースクールとして、地域学校協働活動推進員を中心に、地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって教育活動を進めてきた成果と受け止めている。

○マメナシ学習について

すっかり水南小の地域学習が根付いている。昨年度に引き続き総合的な学習の時間を中心に活動してきたSMCPⅡの取組は、公民館や自治会の協力を得て充実した活動となった。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

- どの項目も良い評価をいただき、学校としては改めて児童が充実する活動を進めていこうと思う。今後も地域とともに児童の成長を見守っていききたい。なお、あいさつについては、自主的にあいさつができるよう指導していききたい。
- 「一人一人が輝く学校」という教育目標のもと、全ての児童を大切にしていきたいと考え、今年度は相談室の整備など、環境面を考慮して取り組んできた。しかし、不登校となる背景は様々であり、なかなか改善されないが、SC、SSWer等と連携を取りながら、全職員一丸となって根気強く指導していききたい。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立幡山東小学校	学校番号	5
-----	------------	------	---

学 校 経 営 方 針

< 目指す学校像 >

挑戦し続ける子どもを育み、創造的な教育活動を組織的に展開できる学校

< 経営方針 >

- ・子どもの考えを尊重し、一人一人がよさを発揮できる環境づくり
- ・子どもが「分かった」「楽しい」と思える授業づくりと個に応じた支援・指導の工夫
- ・持ち味を発揮し、子どものために組織的に教育活動を展開できる教職員

重 点 努 力 目 標

- ・一人一人の子どものよさを共有し、よさを発揮できる場を設定する。
- ・対話を大切にし、協働型課題解決学習の実現を目指す。
- ・ICT機器を有効活用し、わかりやすい授業に努める。
- ・コグニティブトレーニングを定期的に行うことで、認知機能の向上を目指す。
- ・持ち味を生かし、お互いに補完し合える温かい関係作りを目指す。
- ・振り返りと改善を重視した相互授業参観を行う。
- ・子どもを中心に据えた家庭や地域との連携を心掛ける。
- ・定時退校日を自ら設定すると共に、会議の効率化などの業務改善を実行する。

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
学校の授業はわかりやすいですか(児童)	A
子どもは学校の授業がわかりやすいと言っています(保護者)	B
わかりやすい授業を工夫している(教職員)	A
自分にはよいところがあると思います(児童)	B
子どもを積極的に褒めたり、認めたりしようとしています(保護者)	A
子どもの自己肯定感が高まるような働きかけをしている(教職員)	A
学 校 関 係 者 よ り (学校運営協議会・PTA等)	
<p>「学校の授業はわかりやすい」と答えている児童が多い。保護者にも肯定的な回答が多い。これからも学校教育ではここを重視して行ってほしい。</p> <p>自己肯定感というのはどうしたら高まるのだろうか。学校も保護者も努力していることはわかる。急に変わるものではないと思うが、積み重ねてほしいと思う。</p>	
取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策	
<p>学校の授業についての質問では、学年が上がるにつれ「わかりやすい」と答える児童は減るのではないかと予想したが、6年生児童から9割以上の肯定的な回答を得られた。これは、授業内容が難しくなる5・6年生の算数をTTで行う授業形態や業前の活動として取り組んでいる、コグニティブトレーニングやソーシャルスキルトレーニングの効果と考える。反面、児童、保護者とも2割程度は学習の習得に不安があるという結果がある。今後も、教師1人1人の力量向上につながるような具体的な現職教育を計画的に行い、さらなる授業改善に努めていく。</p> <p>9割前後の保護者、教職員が「子どもの自己肯定感が高まるような働きかけ」を意識して行っていると答えているが、子どもには上手く伝わっていないということが懸念される。大人から子どもへの働きかけだけでなく、子ども同士が認め合えるような活動を工夫し、「自分には良いところがある」と自信をもって言える児童を育ていきたい。</p>	

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立幡山西小学校	学校番号	6
-----	------------	------	---

学 校 経 営 方 針

学校教育目標 健康な心身と円満な人格の育成 ―よく考え 豊かに たくましく―
幡山地区のめざす子ども像

- ・思いやりのある子
- ・たくましく生きる子
- ・地域に貢献できる子

経営方針 地域の環境を生かし、地域と協働で特色ある教育活動を展開しながら

- ・確かな学力の定着をはかる
- ・豊かな心を育てる→生き抜く力の育成
- ・健やかな体の成長をはかる

重 点 努 力 目 標

- 基礎・基本の定着 「読む・書く・計算する」の基礎基本の習得。
- 総合的な学習の充実 地域人材や環境を生かした体験活動を通して探求的な態度や能力、人との関わり方のスキルを身につけさせる。
- 道徳活動の充実 道徳の授業を大切にし、多様な価値観を認め、将来に向けて道徳的実践力を養う。
- 特別支援教育の充実 支援が必要な児童に対する体制づくりと適切な支援方法の確立
- 人間力の育成 あいさつや協力、思いやり、責任感や感謝の心など、人として欠いてはならないことを体得させる。(生き抜く力の育成)
- 安全教育の充実 安全教育を充実させ、あらゆる危険から身を守る意識を持たせる。

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
基礎学力向上や学習習慣の定着を図る。	B
少人数指導や特別支援教育の推進による学力遅進児・気になる児童への支援体制の確立をする。	A
国際理解教育の一環としての外国語教育活動を充実させる。	A
地域の特色をいかした教育活動を推進する。	A
道徳教育の充実を図り、「人としてのあり方」を育てる指導の研究をする。	B
地域への情報発信を通して学校生活の様子を保護者・地域に伝える。	A
外部評価を利用して学校の活性化を図る取り組みを進める。	B

学 校 関 係 者 よ り (学校運営協議会・PTA等)

本年度は全PTAの家庭に教育アンケートを任意で実施し、153名の方(全世帯数433名)から回答をいただいた。(結果は別紙資料保護者アンケート令和5・4年度)「そう思う」と「少しそう思う」を合わせたパーセンテージが80%を切ったものは昨年度7項目だったが、今年度は3項目に減少した。特に顕著なものは、17番の地域の活動や行事の項目(71%)、21番のいじめの項目(72%)である。地域との関わりについてはコロナ禍明けで昨年度よりは伸びているが、今後も地域とのかかわりを増やす取組が必要である。いじめに対する取組についても昨年度よりは伸びているが、さらなるいじめ問題の解消に向けての取組や発信をしていく必要があるとのご意見をいただいた。今年度から始まったコミュニティスクールによって、地域とPTAの関係がやや深まったとのご意見もいただいた。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

学力向上については今年度オープン授業を実施し、全職員が授業を公開してお互いの授業力向上を図った。わかりやすい授業を目指す職員の割合が増加し、授業力が向上しつつある。また、昨年度から学校のいじめ・不登校の取組が地域の人に認知されにくい現状を打破するために少しずつ取組を進めていて結果に表れつつあるので、今後も継続して取り組んでいく必要がある。あいさつについて、児童・保護者と教職員の間に意識の差があるので、教職員が積極的にあいさつの定着について意識し取り組んでいく必要がある。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立下品野小学校	学校番号	7
-----	------------	------	---

学 校 経 営 方 針

品野中ブロックの小中一貫教育のめざす人間像を念頭に、PTAや地域と協働しながら、子どもたちを、社会を支える・動かす・つなげる、「自立した社会人」に育てる。
 そのために、休まず登校する・時間や約束を守る・仲良く学校生活を送る・楽しく学習するといった基本の「き」を土台に「協働型課題解決能力の育成」を目指す。

重 点 努 力 目 標

- 自分の力で学べる子を育てるために ⇒現職教育委員会、情報教育チーム
 - ① 基礎学力の定着と指導と評価の一体化
 - ② 個別最適な学びの推進
- 人や自分を大切にできる子を育てるために ⇒特別活動チーム、保健チーム
 - ① 進んであいさつ、素直な「ありがとう」・「ごめんなさい」
 - ② コミュニケーション力向上とモラルの涵養
- 続けて努力できる子を育てるために ⇒体育チーム、保健チーム
 - ① 心身の健康維持・体力の向上
 - ② 芝生広場の有効活用、長放課の過ごし方
- 教職員の健康を守るために
 - ① 明るく温かく、風通しの良い職場環境
 - ② 定時退校日、在校時間の短縮

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評 価 結 果
ICT機器を活用し、基礎基本の定着をはかり、わかりやすい授業をすすめている	B
家庭・地域と連携し、あいさつができるよう努めている	A
道徳や学級活動、行事などを通して温かい関係や学級づくりができています	A
社会のルールを守る態度を教え、いじめや暴力について適切に対応している	A
教育相談活動や元気いっぱい運動などを通して健全な心と体の育成ができています	A
芝生広場の有効活用など、長放課の過ごし方が工夫ができています	A
多忙化解消にかかる業務改善をすすめている	B

学 校 関 係 者 よ り (学校評議員・PTA等)

- ・ プロジェクターの活用は、見ていて分かりやすく、先生方の工夫が伝わってきた。
- ・ あいさつは、社会に出てからも重要なものとして、扱われているので、小学生の時から、学校や家庭、地域が一体となって、情報発信し続けることが大切だと感じた。
- ・ スポーツフェスタの競争時にみんなで応援している姿から、温かい人間関係があるのが伝わってきた。また、保育園から見学している園児に「応援ありがとね」という児童がおり、ほほえましかった。
- ・ 先生たちがいろいろ熱心に取り組まれているのが大変そう。また、社会の変化への対応もしていかなければならないのが大変そうに感じた。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

学校評価アンケートの学習面で、基礎基本の定着やわかりやすい授業の項目では、保護者から厳しい評価もらった。すべての児童が「わかる」「できる」授業づくりをテーマに研修に取り組んだが、思うような成果が上がっておらず、さらに研修を進め、より効果的な活用を進める必要を感じた。ソーシャルスキルを身に付け、伸ばしていく「ハッピーニコニコタイム(通称:ハピニコ)の時間は、多くの児童が楽しみにしている時間になっている。児童の意欲を生かし、コミュニケーションの力が伸びるよう、品野中ブロックでそろって、継続して取り組んでいく。あいさつやルールやマナーを守る指導やいじめへの対応は、引き続き力を入れていきたい。PTA主催のネットモラル塾、地域力向上協議会主催の自転車乗り方教室、バスの乗り方教室など、保護者や地域と連携しながら、児童の安全・安心のための活動を、今後も様々な視点で取り入れていく必要を感じている。また、これらの教育活動が保護者や地域に伝わるよう、通信やホームページを充実させていきたい。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立品野台小学校	学校番号	8
-----	------------	------	---

学 校 経 営 方 針

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の定着と向上(知) ・豊かな心の育成(徳) ・健やかな体の育成(体) ・多様な個性に応じた教育の推進(多様性) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会とつながる教育の推進(横の連携) ・連続性を意識した教育の推進(縦の接続) ・魅力ある教育環境の充実(信頼の構築) |
|--|---|

重 点 努 力 目 標

- 都市近郊でありながら自然環境にも恵まれ、歴史ある地域の特性を生かし、学校、保護者、地域が連携して、持続可能な社会づくりに貢献できる次世代を育成する。
- 品野地域4小中学校が共有した目標のもとに、義務教育9年間を見通した教育活動にあたる。
- 授業や行事など様々な場面で学び合う子、地域の一員であるという自覚をもつ子の育成
- オープンスクールの学校施設と小規模校の特性から、児童の個性を伸ばさせつつ、社会性やコミュニケーション能力の向上に努める。
- 経営方針および教育目標達成のため、各教科の中で具現化を図る。
- 地域と学校、教員同士のコミュニケーションの大切さを意識し、協働して課題解決に努める。
- 行事・会議等の精選やICTを用いた業務の効率化を行うことにより、教職員の多忙化解消に努める。

- 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評 価 結 果
・基本的な生活習慣(あいさつ)の定着	B
・基本的な学習習慣と基礎学力(計算・漢字)の定着	B
・異学年とのふれあい活動(運動会や児童会行事、清掃活動での縦割り班による活動)	A
・地域とのふれあい活動(収穫祭、芸術鑑賞会、里山整備作業、感謝のお手紙等)	A
・保護者との信頼関係作り(迅速な対応やホームページの充実)	A
・学校いじめ防止基本方針の有効性	A

学 校 関 係 者 よ り (学校評議員・PTA等)

- ・子どもたちがのびのびと学校生活を送っている。
- ・どの学年も与えられた課題に、真剣に取り組んでいる。
- ・児童数が少ないながらも、一人一人に役割をもたせてリーダー性や自主性を育てている。
- ・一人一人の成長の過程など、普段からしっかり見ていないとできない声かけが多くあった。
- ・学校全体で子どもたちをみてもらえるところが品野台小学校らしいところと感じた。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

- ・地域の協力を得ながら、親子ふれあい学級やふれあい運動会などを通して人とかわり合う経験をさせている。今後もこうした取り組みの充実を図り、子どもたちの成長を促していく。
- ・全校的な取り組みとして、計算と漢字の「がんばりテスト」を年間各3回実施している。学習意欲に欠ける児童が反復練習して成果を上げるなど、基礎学力の向上の場として有意義な取り組みとなっている。
- ・読書習慣の浸透については、学校のみならず地域図書館、ボランティアとも連携して指導にあたっている。おはなしポケットやらんぷの会による読み聞かせをはじめ、読書指導をさらに充実させていく。
- ・学校と家庭の連携、まわりの大人の「姿」によって、あいさつがあふれる、学校、家庭、地域にしていく。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立掛川小学校	学校番号	09
-----	-----------	------	----

学 校 経 営 方 針

- ともに学び合う
 - ・ 学びあい ・ 個に応じたきめ細かい指導 ・ ICT機器の活用 ・ 他校との連携
- 心豊かである
 - ・ 異学年、他校の児童との交流 ・ あいさつ ・ 自然学習
- たくましい子である
 - ・ 自然体験 ・ 基礎体力の維持 ・ 生命尊重

重 点 努 力 目 標

- ① 複式学級など複数の学年，全校一斉での授業や行事，遠隔システムを活かした授業を通して，主体的・対話的で深い学びを実現するための「学び合いの授業」を推進する。
- ② 少人数指導・ICT機器を活かし，個に応じた「わかる・できる授業」を推進する。
- ③ 特色ある教育活動をSDGsの視点から捉え直し，児童の視野を広げ，学ぶ意欲を高める。
- ④ 誰にとっても温かい学校をめざし，ハピニコタイムはじめ，互いの良さを認め合い，自他を大切に作る心を育てる取り組みを進める。
- ⑤ 個に寄り添う特別支援教育を進めるため，教職員研修を充実させる。
- ⑥ 持続可能な感染症対策を習慣化し，安全で安心な学校生活を確立する。
- ⑦ 事務機器の導入により，教職員の多忙化を解消し，教育目標達成のために時間を割けるようにする。

○ 以上の経営方針(重点努力目標)の下，(特に重点的に)取り組んできたことについて，アンケートの結果などを踏まえ，評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
あいさつができる	B
授業の内容がよくわかる(児・保) わかる授業を工夫している(教)	B
学校に行くのは楽しい	A
誰にとってもあたたかい学校をめざし、心を育てる取り組みをしている	A
他校との交流は、子どもたち(児・自分)のためになる	A
子どもたち同士の交流の場を多く設定したことで、児童のコミュニケーション能力につながっている	A

学 校 関 係 者 よ り (学校評議員・PTA等)

- ・(PTA)先生方がいつも温かく子どもに接していただき感謝しています。引き続き、温かい指導、支援をよろしくお願い致します。
- ・(地域)やはり地域と共にあるこそ掛川小学校ですので、今後も引き続き地域との連帯感一体感を大切にと願っています。小規模特任校の今後の将来性、可能性、地域への新たな居住者増加への働きかけなども含めて是非、掛川地区のランドマークとして華々しい存在であって欲しいと願っております。
- ・(評議員)どの子も受け入れる小学校を応援していきたい。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

- ・小規模特認校として個に応じたきめ細かな指導を進めながら、掛川地区の自然環境を活かした生活科・総合的な学習の時間の取組を進めてきた。これは地域ボランティアの支援をいただいているからこそ実現できているものであると考える。
- ・今後は、地域ボランティアの高齢化問題と照らし合わせ、持続可能な形式となるように検討していかなければならないと考える。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立長根小学校	学校番号	10
-----	-----------	------	----

学 校 経 営 方 針

校訓 「強く 明るく よく励む」
 学校教育目標 夢いっぱい 自ら学び 心豊かに たくましく

重 点 努 力 目 標

- 【知的好奇心いっぱい】 自ら課題を見付け、調整し、探究する授業の追求
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・ICTを活用した個別最適な学び・協働的な学びの実現
 - ・総合的な学習の時間における探究的な学習の充実
- 【優しさいっぱい】 自他の良さを認め、自ら考え、行動する子の育成
 - ・道徳やSSTで円滑なコミュニケーションのとり方を学ぶ機会をつくる
 - ・異学年交流で多様な学びを促す場をつくる
- 【かかわりいっぱい】さわやかなあいさつで、広げるつながり
 - ・地域ぐるみでのさわやかなあいさつへの取り組み
 - ・ねこSAPO(地域学校協働本部)を中心としたCS活動の充実
 - ・創造的で効果的な教育活動実現のための働き方改革

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
主体的で主体的・対話的で深い学びのある授業を目指した取組をしている	A
指導力の向上を目指し、研修等に励んでいる	A
児童一人一人によりそった教育をしている	A
子どもたちが人間関係を築く力を育成している	B
異学年とのふれあいを重視した活動を大切にしている	C
児童は、よくあいさつをすることができる	D
職員が共通理解をもち、協力して教育活動を進めている	B

学 校 関 係 者 よ り (学校評議員・PTA等)

アンケートからも教職員が日々努力している様子が伝わってきた。課題となっていることに対して、意識して取り組むことができている。授業でも積極的にタブレット端末を活用し、まとめたり発表したりと「自ら課題を見付け、調整し、探究する」姿が見られた。地域についての発表があり、地域が大好きということが感じられた。便利になる一方で、自分の頭を使って考える活動など、自分の手で書く力を伸ばしつつ、タブレット端末のよさを共存させうまく活用して行ってほしい。

子どもたちの読書の時間が減っていることに対して、また多様なニーズに応じた支援が必要なことなどについて地域と一緒に考えていきたい。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

保護者のアンケート結果から、「総合的にみて、長根小学校の教育は満足できる」に対し、98%の方に「そう思う」「大体そう思う」の回答をいただいた。長根小の教育活動に対してよく理解をいただいている。「あいさつができる」「相手の身になって考えることができる」「よく読書をしている」の項目で保護者、児童ともに昨年度よりポイントが下がっていた。学校はもちろん、家庭・地域とも連携しながら取り組みを進めていきたい。

学習面においては、「読み取る」「わかりやすく説明する」といったことが苦手なことが分かった。子どもの疑問や興味に沿って、問題解決までの見通しをもたせ、粘り強く学習に向き合っていくことができるような協働型課題解決学習をより一層充実させ、一人一人に寄り添いながら学習内容の定着に向けて取り組んでいきたい。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立原山小学校	学校番号	11
-----	-----------	------	----

学 校 経 営 方 針

「チーム原山」笑顔あふれる あたたかな学校」

- ・一人一人が自他ともに大切にし、思いやりや感謝の気持ちを持ち、笑顔で毎日の生活を送ることができる学校（児童）
- ・目標を共有し、やりがいを持って充実した教育活動の推進に、組織として取り組むことのできる学校（教職員）
- ・子どもの成長を優しく見守り、安心して地域の子どもたちを通わせることのできる学校（保護者・地域）

重 点 努 力 目 標

- ・ 感謝の心や思いやりの気持ちを大切にし、自己肯定感や自尊感情の育成を図る。また、挨拶や時間を守るなどの基本的な生活習慣の向上に取り組む。
- ・ 基礎基本を大切に「わかる授業」を推進する。また一人一人の主体的な学びによる課題解決の学力向上を図る。
- ・ 中学校ブロックの各校との連携を深めるとともに、地域の特性をいかした小中一貫教育の推進と教育活動の積極的な情報発信を進める。
- ・ 外部機関等とも連携し、組織として課題解決を図るとともに、業務の効率化を進める。

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
児童は全体的に自尊感情が高いと思う。(教職員)	B
学校は、教育目標達成に向けた具体的な取り組みがなされている。(教職員)	A
学校は楽しい。(児童)	A
学校での勉強はわかりやすい。(児童)	A
ホームページやたよりなどで教育方針をわかりやすく伝えている。(保護者)	A
学校は保護者や地域との連携が充実するように努めている。(保護者)	A

学 校 関 係 者 よ り (学校評議員・PTA等)

- ・原山小の先生方は感じが良く、そのため学校全体の雰囲気も良いと感じます。(保護者)
- ・不審者に遭遇したとき、早急に対処してくださいました。通学団があれば安心だなと思いますが、児童数が少ないので仕方ないとも思いますし、難しい案件です。(保護者)

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

「チーム原山」の合言葉が3年目となり、全職員で全児童を見ていこうとする雰囲気が出来上がった。それが児童に手厚い支援につながって、高評価をいただいていると思われる。また、毎日複数回ホームページをアップという情報発信に努めてきたことも大きいと思う。

今後の課題としては今年度の重点目標の一つが「自己肯定感や自尊感情の育成を図る」であったにも関わらず、「児童は全体的に自尊感情が高いと思う」と回答した教職員が68%にとどまったのは課題である。ただ、類似質問で児童は81%であり、昨年度より3%上がっていることを好意的に捉えたい。そのうえで「チーム原山」でさらなる改善を図りたい。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸立東山小学校	学校番号	12
学 校 経 営 方 針			
<p>○ 東山小学校教育目標 「心豊かに よく学び よく遊ぶ東山っ子を育成する」 めざす子ども像 「心豊かに学ぶ子 心豊かに遊ぶ子」 めざす学校 「東山っ子のひとみ輝き笑顔あふれる学校」</p> <p>○ 南山中学校ブロック教育目標 「自分が好きで、他と認め合うことのできる児童生徒」 めざす学校 「今日が充実して 楽しい学校・明日が待ち遠しい学校」</p>			
重 点 努 力 目 標			
<p>◎「協働的課題解決能力の基礎を育む」授業づくりに取り組む。</p> <p>◎「瀬戸が大好きな子どもを育てる」ために瀬戸の自然や文化、伝統に対する誇り・愛情・関心等を養うための教育活動について充実を図る。</p> <p>◎「主体的に健康課題を解決できる力を養う」ために、健康・安全・食にかかわる指導の充実を図る。</p> <p>◎「自他の生命や生き方を尊重しようとする心情・態度を養う」ために、全教育活動を通して、生命の尊さや生きることの素晴らしさについての理解を促す。</p> <p>◎「自己肯定感を高めさせるとともに共感的な人間関係を築かせる」ために、互いに認め合い励まし合い高め合うための活動を繰り返し設定する。</p> <p>◎「意見の違いや多様性を認め合いながら成果へつなげることのできる調整力を育む」ために、学級や学年・児童会等、様々な集団活動の場を積極的に設ける。</p> <p>◎全教育活動を通じて「礼儀の意義についての理解を促すとともに、実践力の向上」を図る。</p>			
○ 以上の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。			
重 点 的 な 取 組 (評価項目)		評価結果	
心と体の健康づくり		A	
思いやりの心の育成		A	
さわやかなあいさつ		B	
基礎的・基本的な学習内容の定着		B	
生活面・いじめ等の適切な指導		B	
保護者・地域との連携		B	
小中一貫教育の推進		B	
学 校			
関 係 者 よ り (学校運営協議会委員・PTA等)			
<p>・小中一貫教育の評価が低いのは、にじの丘ブロックや光陵ブロックの小中一貫教育と取り違えて理解しているかもしれない。南山ブロックの小中一貫教育の取り組みを発信していくことで理解していただくことができるとよい。</p> <p>・教員も、昨年度よりもあいさつができる児童が増えたと実感しているようだが、実際に地域で会ったときに挨拶をしてくれた子がいて嬉しく感じた。さらに進んで気持ちのよいあいさつができる児童が育つとよい。</p>			
取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策			
<p>全体的に昨年度よりは肯定的な回答が多かったものの、今後もすべての子どもたちが安心して通うことができる学校を目指していきたい。普段の学校生活や道徳の時間において心の充実を大切にし、自分の居場所が感じられ、互いに認め合うことができる学級、学び合う集団づくり、思いやりを育てる教育を全教職員で引き続き行っていきたい。また、地域や中学校ブロックとの連携にも力を入れていきたい。</p>			

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立萩山小学校	学校番号	13
-----	-----------	------	----

学 校 経 営 方 針

- 1 学校や郷土に対する愛着の心を育成する。
- 2 基礎・基本を徹底し、生きた学力の保証をする。
- 3 自分の健康に関心をもち、健康に生活していくための体力の向上に努める。
- 4 家庭・地域と連携した開かれた学校づくりの推進をする。

重 点 努 力 目 標

- ① 心を育てる指導の充実（道徳科の充実、他国籍の仲間や特別支援学校・地域との交流、言葉遣い・返事）
- ② 学力の保証（「読み・書き・計算」の確実な習得、ICTの活用、読書推進、日本語指導）
- ③ 心身の健康と体力の向上（SC・SSWrと連携して心のケアの充実、いじめ防止への意識の徹底、歯の健康の取組と保護者への啓発、「走る・跳ぶ」力の向上と基礎的な体力づくり）
- ④ 家庭・地域との連携 ⑤働きやすい職場の環境づくり（多忙化解消に向けて）

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評 価 結 果
萩山小学校は、信頼できる学校である。(①, ②, ③, ④)	A
萩山小学校は、いじめのない学校づくりに力を入れている。(②, ③ , ④)	A
萩山小学校は、子どもたちの学習指導に力を入れている。(①, ②, ③)	B
萩山小学校は、子どものことについて相談しやすい場である。(④)	A
萩山小学校は、家庭、地域や瀬特支学校と連携・協力をすることに力を入れている。(②, ④)	A
萩山小学校は、学校の情報を十分に伝えている。(①, ②, ③, ④)	A

学 校 関 係 者 よ り (学校運営協議会・PTA等)

- 保護者の意見
- ・どの先生も子どもの名前と顔を覚えてくださっているので安心できます。
 - ・少人数なので一人一人を丁寧に見ていただいていると思います。
 - ・萩山小学校はとても温かく、少人数ですが、それをいかせていると感じます。あいさつができなかったり、あいさつをしても小声だったりするところだけ残念だなと思います。
 - ・地域の方が登校に付き添っていただけるのはとてもありがたいです。
 - ・言葉遣いや態度等、少し気になる話を耳にすることがあります。
 - ・家庭での学習、学校での活動に意欲的に取り組める環境を作ってください、感謝しております。また、課題や活動を通して様々な経験を積ませていただいております。
 - ・少人数の学校生活も残り少ないと思います。有意義に子どもたちと過ごしてください。
 - ・家庭での学習、学校での活動に意欲的に取り組める環境を作ってください、感謝しております。また、課題や活動を通して様々な経験を積ませていただいております。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

アンケート結果から『子どもは学校を楽しんでいる』の設問に対して「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が高い数値を得ました。『人を思いやる気持ちや優しい気持ちが育っている』という設問に対しても同様に高い数値を得ています。学校内でも子どもたち自身が自然と多種多様な異文化に触れることができ、本校の特色の一つでもある特別支援学校が併設していることも要因と考えられます。また、全教職員も児童全員の名前を覚え、常に児童に声をかけています。しかし『学校で学習したことが身につけている』の設問に対しては、全体的に数値が低くなりました。児童数が少なく、きめ細かな指導・支援ができ、アットホームな学校ではあるが、学習の定着においては保護者・教職員ともに不安があるという結果でした。今後も全教職員が同じ考えのもとで、一丸となって学習に取り組んでいきます。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立八幡小学校	学校番号	14
-----	-----------	------	----

学 校 経 営 方 針

教育目標：「誰一人として取り残さず，明るくなかよくたくましく生き抜く子どもの育成

【めざす学校像】

- ・明るく：知 主体的・対話的に課題を解決しようとする力
- ・なかるく：徳 学び合い 助け合い 高め合う力
- ・たくましく：体 学びと生活の土台となる健康と体力

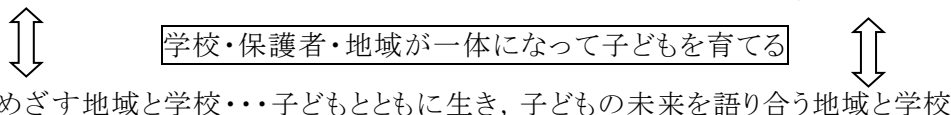
【小中一貫教育（光陵中ブロック）でめざす子ども像】

「あいさつ」「ありがとう」「だいじょうぶ」「ごめんなさい」を言葉や態度で自然に表すことができる子

【地域とともにある学校づくり】

自分・仲間を大切にするあたたかい児童を育てるコミュニティスクールの推進

- | | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ いつも明るく、思いやりのある子 ・ すすんで挨拶や学習のできる子 ・ 何でも前向きに取り組む子 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛情にあふれ、さわやかな教職員 ・ 子どもとともに学び続ける教職員 ・ みんなの願いを理解できる教職員 |
|---|--|---|



重 点 努 力 目 標

持続可能な社会の創り手（SDG sを達成する人材）となるよう，八幡っ子を育てる。とりわけ非認知能力の育成に注力する。

1. 「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす
2. 学校と地域の連携を土台としたコミュニティスクールの推進をし，小中一貫教育をさらに進める。
3. 笑顔で子どもと向き合えるゆとりある職場環境

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下，(特に重点的に)取り組んできたことについて，アンケートの結果などを踏まえ，自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評 価 結 果
自ら進んで挨拶や学習に取り組む児童の育成	B
基礎的な生活習慣の確立	B
基礎基本を重視したよく理解できる授業づくり	B
自他ともに大切にする心の育成	A
学校・家庭・地域の連携の充実	A

学 校 関 係 者 よ り (学校運営協議会・PTA等)

(学校運営協議会)

- ・あいさつについて，反応が薄い子もいるが，アンケートを見ると，本人はしているつもりの様子。
- ・通信で，ヘルメット着用を呼び掛けてから，よくなっている。

(PTA)

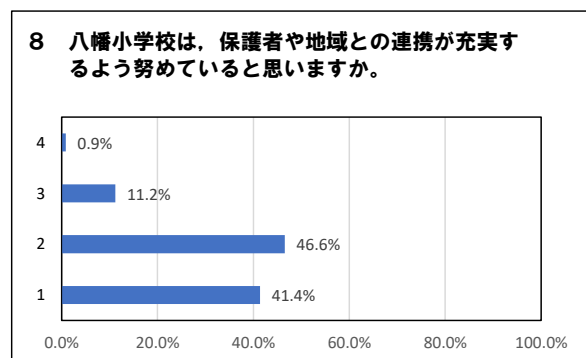
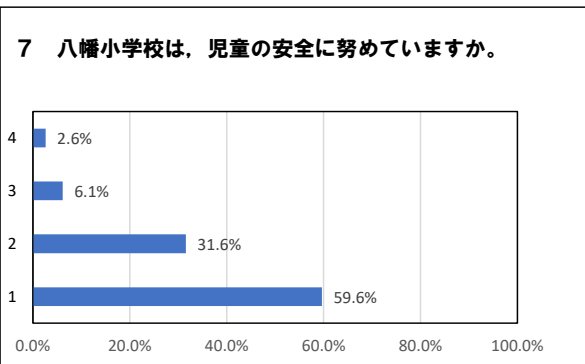
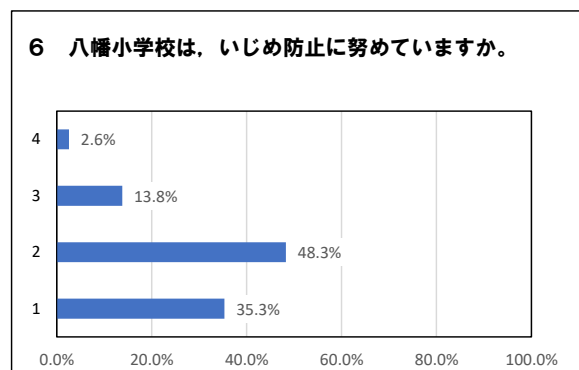
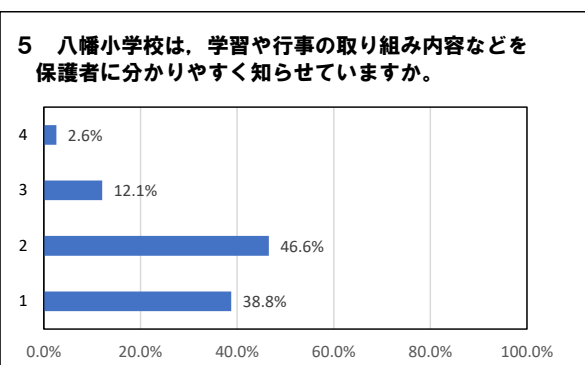
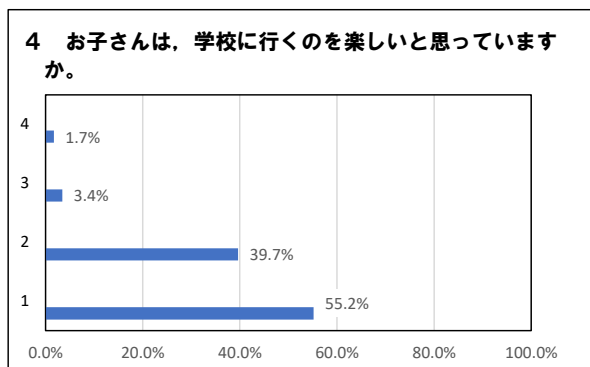
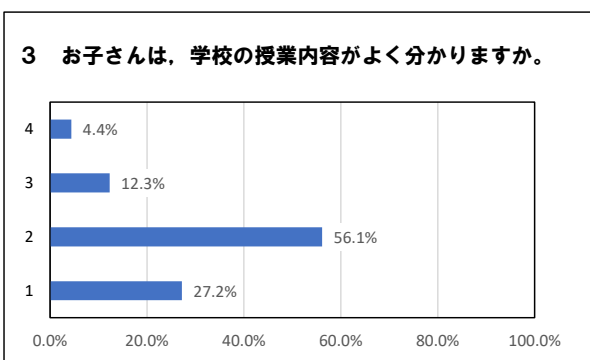
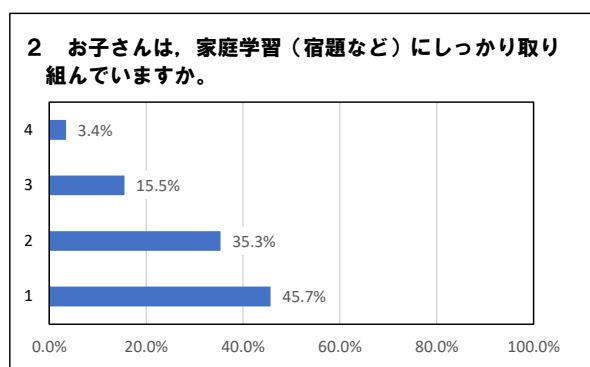
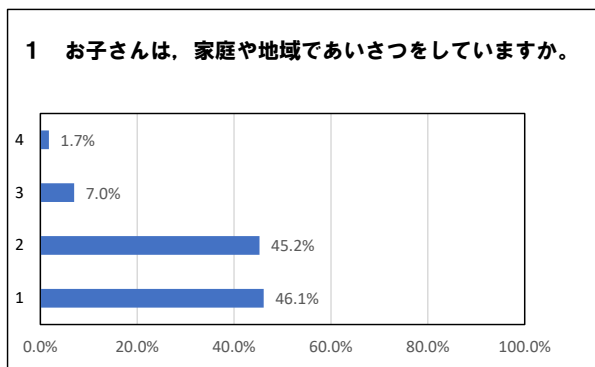
- ・異学年交流をもっと盛んにして，少人数の学校の良さを引き出してほしい。
- ・学校がより個別最適化，探求的な学びの場となってほしい。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

表現，発表，まとめ，反復学習など，さまざまな学習活動でICTを活用する一方，外部講師を招いた体験型学習も多く取り入れ，児童にとって楽しく，また探求的で深い学びとなっている。すべての学年で算数のTT，少人数指導を行い，授業の流れをルーティーン化するなど，体系的に取り組んでいるが，学習理解，学力定着という点において，児童や保護者と教職員では正反対の認識であることは昨年度と同様であった。落ち着いた環境で学習に臨むために，家庭や地域の協力を仰ぐとともに，引き続き，ソーシャルスキルトレーニングやコグトレなどを活用しながら，非認知能力の育成に努めたい。

令和5年度 八幡小 保護者アンケート結果（回答数：116）

1:そう思う 2:ややそう思う 3:あまりそう思わない 4:そう思わない



令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	西陵小学校	学校番号	15
-----	-------	------	----

学 校 経 営 方 針

- ア 児童一人一人を大切にし、生きる力を育む教育活動を推進する。
- イ 教職員の協働体制を確立する。
- ウ 愛情と信頼に満ちた児童理解を図る。
- エ 健康で明るく、心豊かな児童の育成に取り組む。
- オ 家庭・地域社会とともに教育活動を進める。
- カ 学校環境を整備し、うるおいのある学校を目指す。

重 点 努 力 目 標

- ア 豊かな心の育成
- イ 「21世紀型」能力の育成
- ウ 家庭・地域との連携
- エ 基本的な生活習慣の育成
- オ 多忙化解消のための取り組み

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
個性を尊重し、他者を思いやる心を育成する。	A
様々な状況に置かれた児童の心のケアに努める。	A
人とのかかわりを大切にし、食の面からも豊かな心を育む。	A
I C T機器を積極的に活用し、コンピュータリテラシーと情報モラルを向上させる。	A
体験的な活動を多く取り入れるなどして、児童が課題の発見と解決に向けて、主体的かつ協働的に学ぶ学習を大切にする。	A
保護者、地域に情報発信を積極的に行い、協働して児童の健全育成に努める。	B
集団生活をする中での社会的なマナーやルールを指導徹底するように努める。	B

学 校 関 係 者 よ り (学校評議員・PTA等)

アンケートの結果、91%の保護者から「本校の教育活動に満足、どちらかという満足」という回答が、85%の保護者から「子どもが学校に行くのを楽しみにしている」という回答が得られた。保護者との連携、食育の取組、緊急時等の安全確保についても保護者や学校評議員の皆様から高評価を得ることができた。しかし、進んで挨拶をしたり身の回りの整理・整頓をしたりすることが不十分であることがうかがえ、今後も学校・家庭双方から働きかけをしていく必要があると考える。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

年度末反省・教職員アンケート・児童アンケート等の内部評価、および保護者アンケートや学校評議員会により、学校評価を実施した。学年部会を中心に校外学習や出前授業など、体験的な活動を多く取り入れるなどして、児童が課題の発見と解決に向けて、主体的かつ協働的に学ぶ学習を大切にする授業に取り組んできた。また、プログラミング推進教師の指導の下、I C T機器を積極的に活用し、より充実した授業実践にも取り組んだ。本校の特色ある教育活動である「食育」については、栄養教諭とともに継続して取り組んできたことにより、確実に成果が表れてきている。99%という保護者からの強い要望があり、今後も続けていく必要がある。今後は、今年度不十分であったと考えられる、社会的なマナーやルールの指導について、今以上に指導の充実を図っていきたい。さらに、まだ保護者から要望が多いホームページの充実についても邁進していきたい。そして、より開かれた学校を目指し、学校の現状や学校経営方針への理解を図り、次年度開設予定のコミュニティースクールを中心に、学校と地域の力を結集していけるよう努力を続けていきたい。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立水無瀬中学校	学校番号	21
-----	------------	------	----

学 校 経 営 方 針

職員の姿勢

- ・ 健康，明朗で職員相互の「和」を大切にし，こころ豊かな教育を推進する。

指導の姿勢

- ・ 職員と生徒，生徒同志のこころのふれあいを大切にし，温かみのある指導をする。
- ・ 自分を大切にでき，互いに認め合い高め合うことができるような指導に努める。
- ・ 家庭，地域，関係諸機関との連携を図り，健全な生徒の育成に努める。

重 点 努 力 目 標

- ・ 社会的自立をめざす教育の実現
- ・ 道徳的な心情，判断力，実践力の育成
- ・ 自らの生き方・夢の実現に向け，必要な能力や態度の育成
- ・ 学ぶ力を育てる学習の実現
- ・ 自己を見つめ，他を思いやり，けじめのある生活の実現

○ 以上の経営方針(重点努力目標)の下，(特に重点的に)取り組んできたことについて，アンケートの結果などを踏まえ，評価結果を報告します。

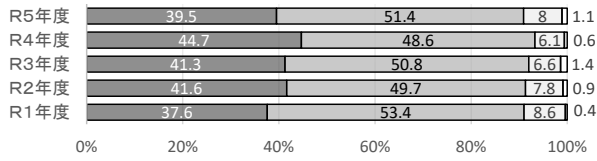
重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
学校は教育方針をわかりやすく伝えている。(保護者)	A
先生は，生徒の相談によくのっている。(生徒)	A
学校は，いじめのない学校づくりに取り組んでいる。(生徒)	B
私はわかりやすい授業が多いと思う。(生徒)	B
我が子は，あいさつができる。(保護者)	A
我が子は，学校へ行くことを楽しみにしている。(保護者)	A
学 校 関 係 者 よ り (学校運営協議会・PTA等)	
校則の変更を検討する際は，PTA、地域学校協働推進委員の意見も聞くとよい。社会に出てからもルールがあることは生徒に教える必要がある。	
第 三 者 よ り (外部の専門家・他校の教職員等)	
「授業の内容がよく分かる」の項目で，肯定的に回答している生徒が昨年度と比べて減少している。その結果を受け，「個別最適な学び」と「協働的な学び」を来年度の学校教育目標の重点努力目標に追加したことは，学校評価アンケートの学力面の結果が反映されていて良いと思う。学校は協働的な学びができる場所であり，個別だけでなく協働も含めた学びを考えていくことが大切だと思う。	
取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策	
<p>オープンスクールや体育祭・文化祭など，学校生活を保護者の方に見てもらう機会をもつことができ，ホームページからも学校の様子を伝えるよう努めた。その成果として，「開かれた学校づくり」に関する項目に対する保護者の肯定的な回答が増加した。今後も保護者・地域との連携を深め，学年・学校全体で対応していけるよう努めたい。</p> <p>「こころ豊かな生徒指導」に関する項目では，「先生は，生徒の相談によくのっている」の生徒の肯定的な回答が増加した。今後も恒常的な生徒との温かな関わりをより一層大切にしたい。</p> <p>「学力向上」に関する項目では，生徒の「基本的な学力は身につけている」の回答が増加した反面，「授業の内容がよく分かる」「積極的に授業に参加している」の回答が減少した。今後，教職員が「個別最適な学習」「協働的な学習」を意識して行く必要がある。</p>	

【凡例】 ※ グラフは左から下の順になっています。

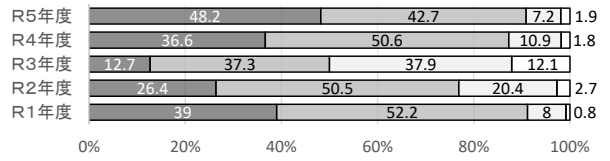
■あてはまる □ややあてはまる □ややあてはまらない □あてはまらない

1 開かれた学校づくりを目指して

① 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。〈保護者〉

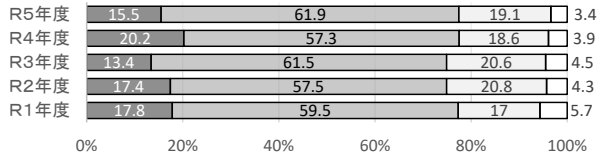


② 学校は保護者が授業を参観する機会を設けている。〈保護者〉

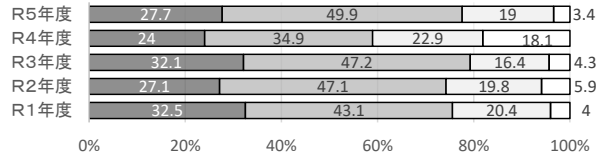


2 心豊かな生徒指導を目指して

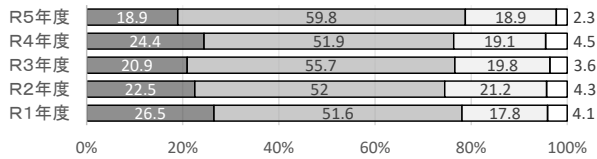
③ 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。〈保護者〉



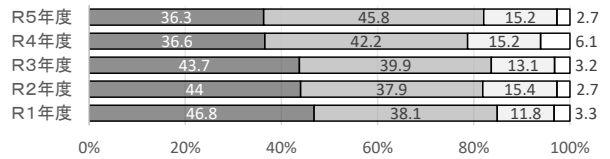
〈生徒〉



④ 学校の先生は、生徒の相談によくのっている。〈保護者〉

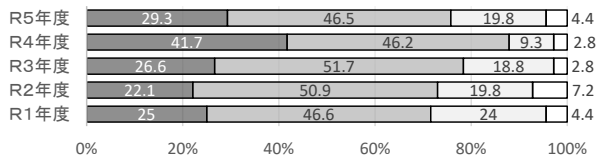


〈生徒〉

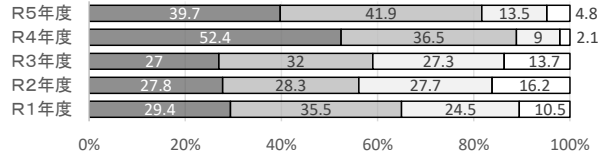


3 学力向上を目指して

⑤ 私は、授業の内容がよく分かる。〈生徒〉

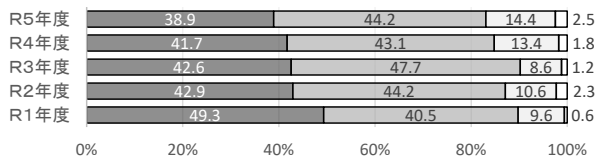


⑥ 積極的に授業に参加している。〈生徒〉

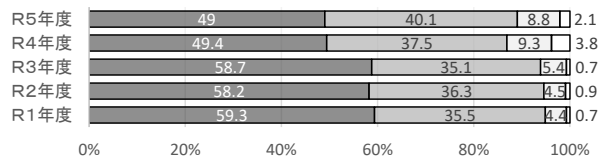


4 気持ちのよい学校生活を目指して

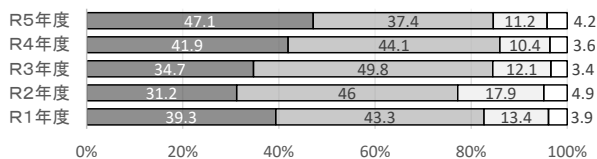
⑦ 積極的にあいさつができる。〈保護者〉



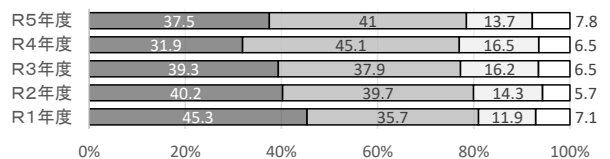
〈生徒〉



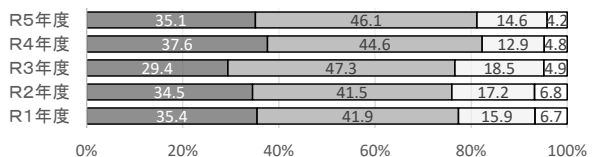
⑧ 私は、水無瀬中で、安心して過ごすことができる。〈生徒〉



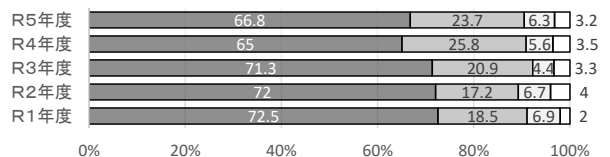
⑨ 私は、学校に行くのは楽しい。〈生徒〉



⑩ 私は、水無瀬中での生活に満足している。〈生徒〉



⑪ 私は、積極的に部活動に参加している(た)。〈生徒〉



令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名 瀬戸市立南山中学校	学校番号	22
---------------	------	----

学 校 経 営 方 針

すべての教職員が個々の専門性を生かし、家庭・地域社会や校区内小学校とも連携協力する中で、学校が組織としての力を発揮することで、すべての生徒に生き抜く力を育成し、教育目標の具現化を図る。

重 点 努 力 目 標

主体的・対話的・深い学び

- ・ 「分かる・できる授業の実現」「為すことによって学ぶ『体験活動』」「生き方教育としてのキャリア教育」

命を尊び、自他を尊重する心

- ・ 「多角的な生徒理解と学級・学年経営への反映」「命の尊重・自他の尊重」「居心地の良い学級・学校」「特別支援学級を核としたインクルーシブ教育」

困難に打ち勝つ健康な心と身体

- ・ 「健康な体」「困難を乗り越える逞しい心」

○ 以上の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
① 南山中学校は、分かりやすく生徒が意欲的に取り組む授業をしている。	A
② 南山中学校は、話し合いや発表を通して思考力を高める授業を実施している。	A
③ 南山中学校は、いじめや暴力のない学校作りに取り組んでいる。	A
④ 南山中学校は、生徒会活動など生徒の意欲的な取り組みを支援するようにしている。	B
⑤ 南山中学校は、自分の適性を知り、今後の生き方を考える進路指導をしている。	A
⑥ 南山中学校は、小中一貫教育の充実に向けて積極的に取り組みたいと考えている。	B
⑦ 南山中学校は、保護者・地域との連携が充実するよう努めている	B

学 校 関 係 者 より (学校運営協議会委員・PTA等)

- ・ 学校教員と関係者の取組の成果により、アンケート結果は全体に高評価である。
- ・ 保護者の不明回答は、家庭内のコミュニケーション不足によるものかもしれない。また、自分の子供に直接聞くことはせず、保護者が子どもの様子等を見て感じた内容で答えたため、家庭によって評価に差が出たのかもしれない。また、保護者に伝わっていないという意味表示として、未回答を選ばれていることもあるのではないか。
- ・ 雰囲気の良い学校づくり、いじめ暴力のない学校づくりの設問について、教職員は努力をされていると思う。否定回答をした子どもたちにもその姿勢を分かってもらえるとよい。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

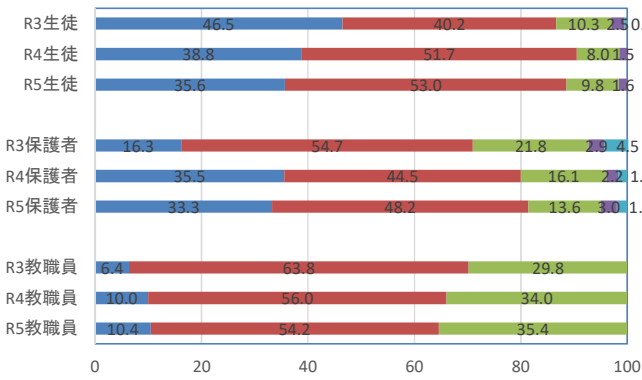
- ・ 問2「楽しく学校生活を送っている」、問12「南山中に入学して(させて)満足している」に対し、今年度は生徒、保護者の「よくあてはまる」と「ややあてはまる」が90%以上であったことは学校の教職員だけでなく、保護者、地域の方々とも協力して円滑な学校運営をすることができた成果である。
- ・ 問6「南山の先生は、生徒のことについて適切に相談に応じている」に対しては生徒の「よくあてはまる」「ややあてはまる」の数字も伸びているが、保護者の数字が減少し「不明(無回答)」が増えている。生徒の教職員への信頼の高まる一方、学校の様子が家庭に十分伝わっていないことが伺える。
- ・ 問13「生徒が主体的に取り組む授業をしている」に対し、生徒や教職員の数字が伸びているが、保護者の数字が微減し「不明(無回答)」が増えている。学習指導要領のねらいに沿った授業を行っているが、保護者には伝わり切っていないという実態がある。授業参観等、授業の様子を公開する機会を設けたり、HPなどで紹介したりしていくことが本校の課題である。
- ・ 問14「キャリア教育」、問15「特別支援教育」、問18・19「小中一貫教育」においては、生徒や保護者の達成感に対して、保護者の評価が低い。通信やHPなどをもっと有効活用し、たとえば何をねらいとしてどんな成果があったなどを紹介したりし、学校教育を理解してもらえるようにしていく必要がある。
- ・ 問17「通信やホームページで学校の様子を分かりやすく伝えている」において、93.3%の保護者が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答している。しかしながら、他の設問における保護者の「不明(無回答)」の割合が増加しているため、さらなる効果的な活用について検討する必要がある。
- ・ 記述回答欄には、「授業参観の機会が少なく、学校の様子が分からない」という意見があった。授業参観の機会を設けるのには限界があるため、保護者が来校する懇談会や行事の機会を大切にしてい、学校の様子を知らせていく必要がある。

令和5年度 南山中学校 学校評価アンケート集計

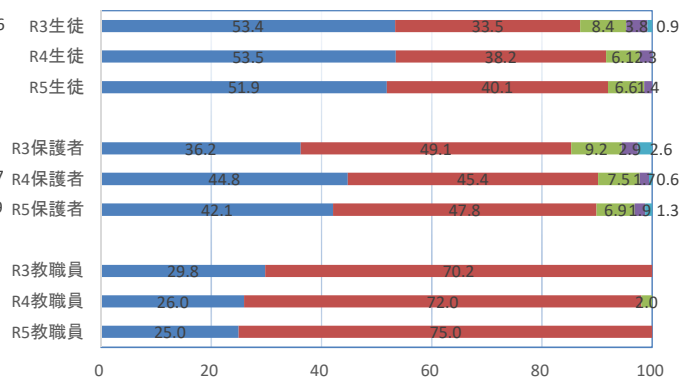
No.1

■ よくあてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ ほとんどあてはまらない ■ 不明

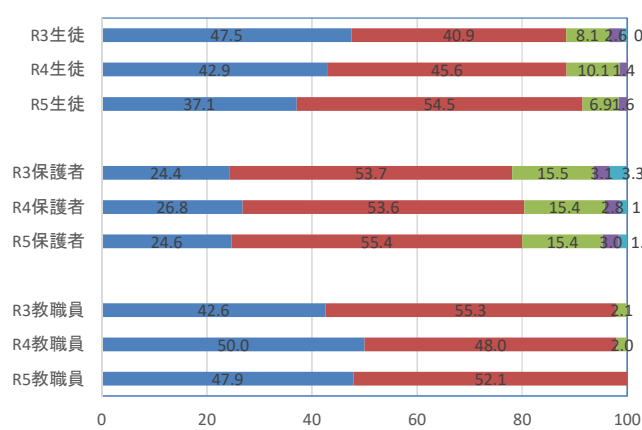
Q1 生徒はあいさつをよくしている



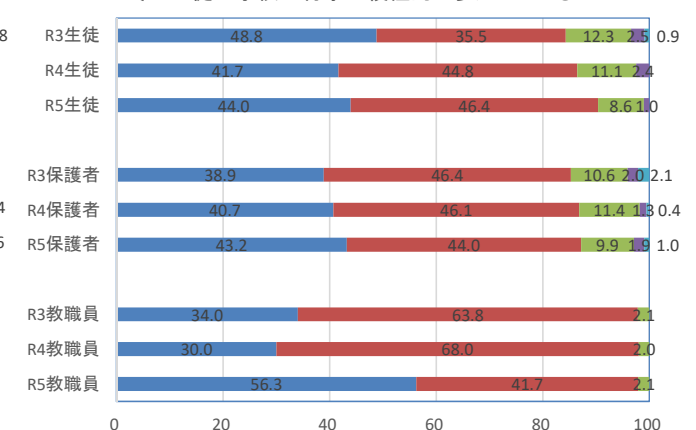
Q2 生徒は楽しく学校生活を送っている



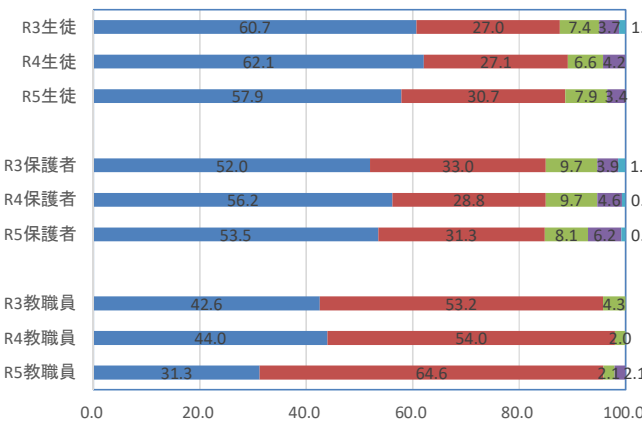
Q3 生徒は落ち着いて学習に取り組んでいる



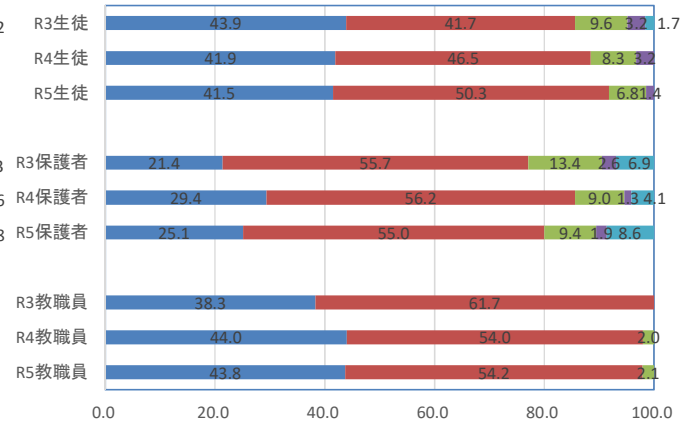
Q4 生徒は学校の行事に積極的に参加している



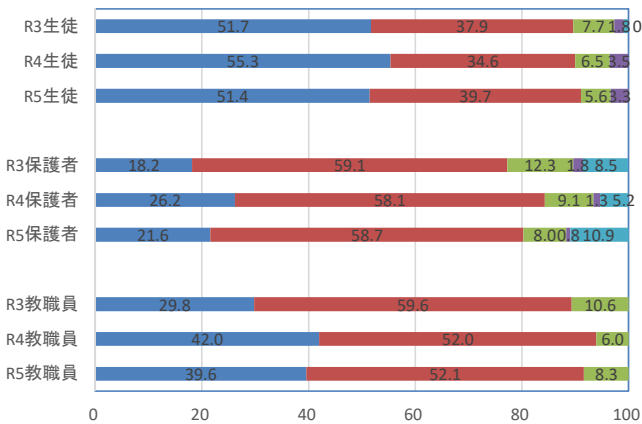
Q5 生徒は、積極的に部活動や校外の活動に参加している(いた3年)



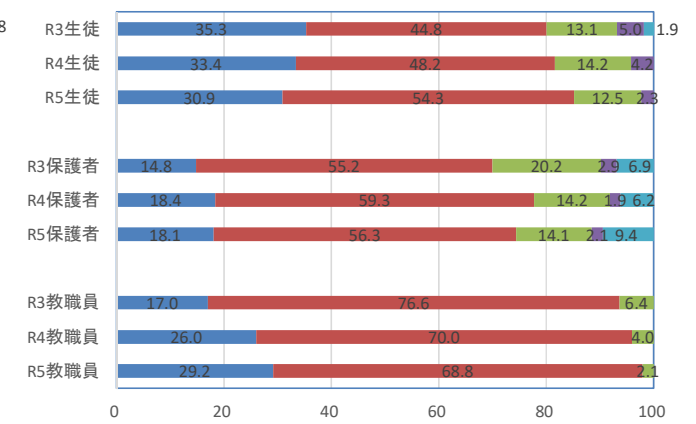
Q6 南山中学校の先生は、生徒のことに適切に相談に応じている



Q7 南山中学校の先生は、生徒の間違った行動を正すよう指導している

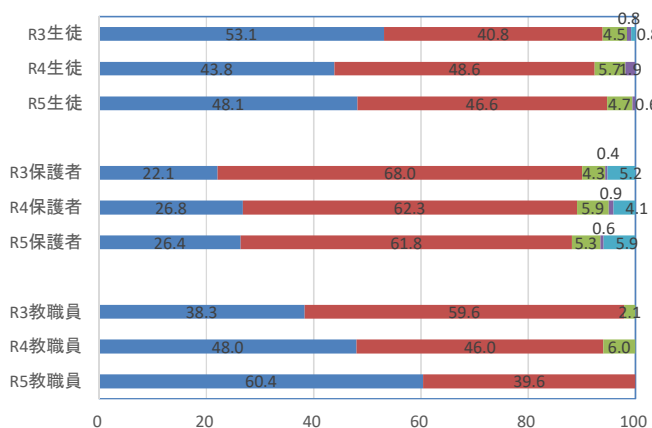


Q8 南山中学校の先生は、生徒をよく理解している

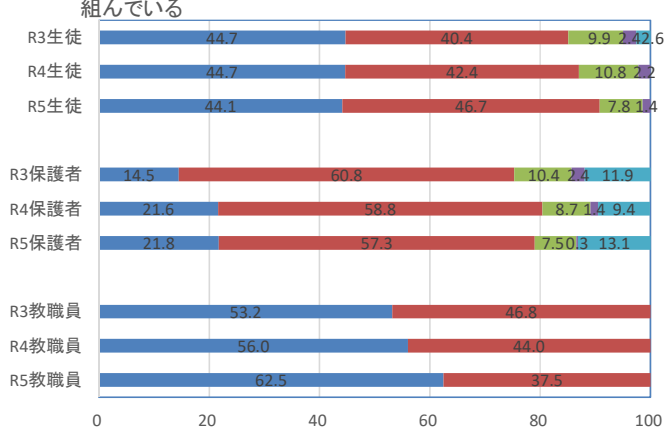


■よくあてはまる ■ややあてはまる ■ややあてはまらない ■ほとんどあてはまらない ■不明

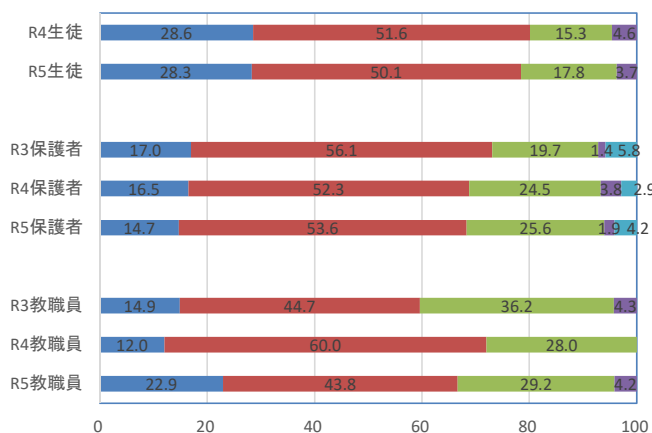
Q9 南山中学校は、学校の雰囲気が良い



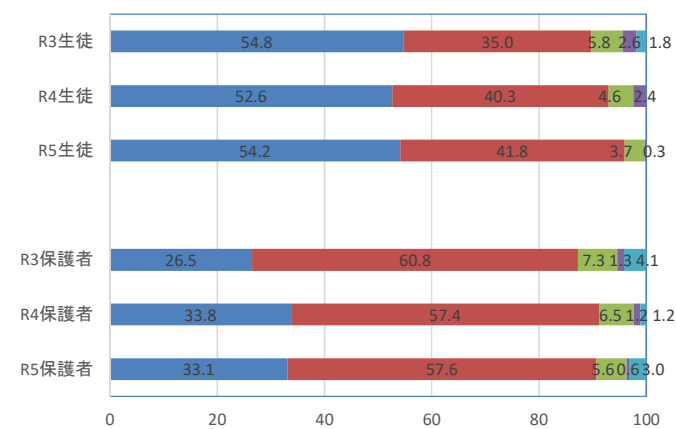
Q10 南山中学校は、いじめや暴力のない学校作りに取り組んでいる



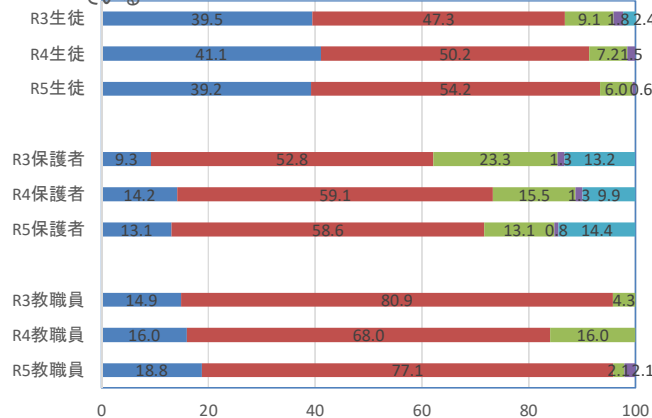
Q11 南山中学校の施設・設備などの学習環境は、ほぼ満足できる



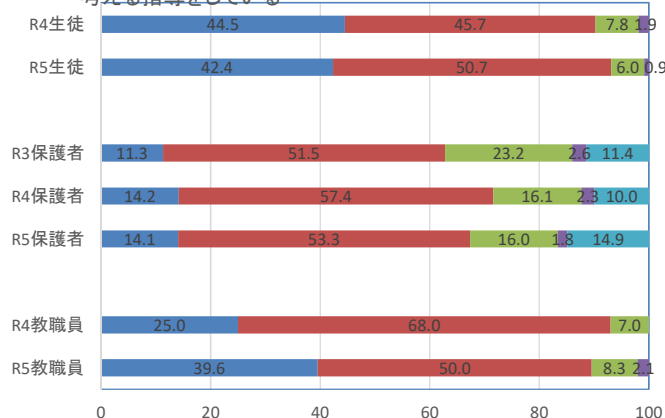
Q12 南山中学校に入学して(させて)、ほぼ満足している



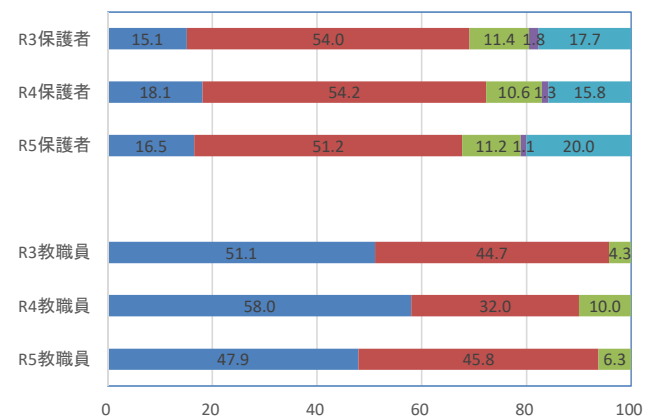
Q13 南山中学校は、生徒が主体的に取り組む授業をしている



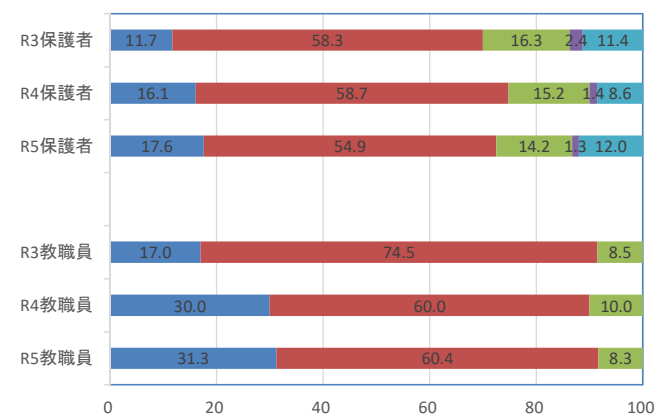
Q14 南山中学校は、自分の適性を知り、今後の生き方を考える指導をしている



Q15 南山中学校は、発達障害の研修を深め、特別支援教育を進めている

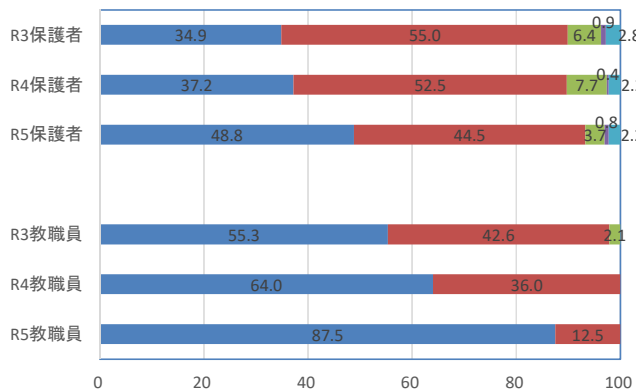


Q16 南山中学校は、保護者・地域との連携が充実するように努めている

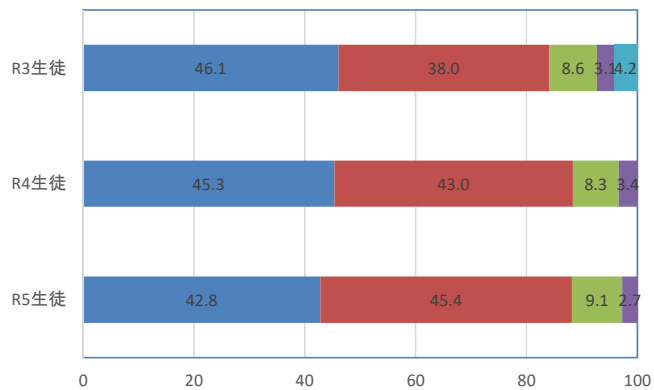


■ よくあてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ ほとんどあてはまらない ■ 不明

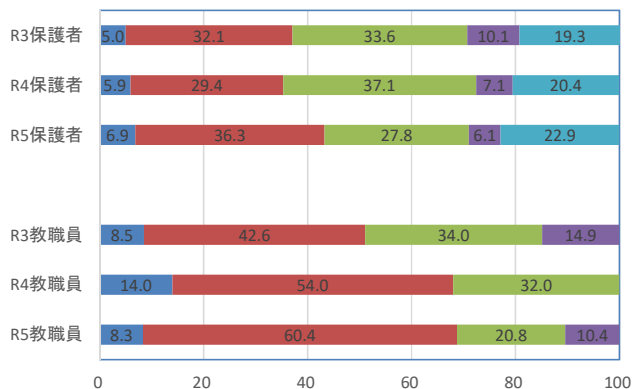
Q17 南山中学校は、通信やホームページで学校の様子を分かりやすく伝えている



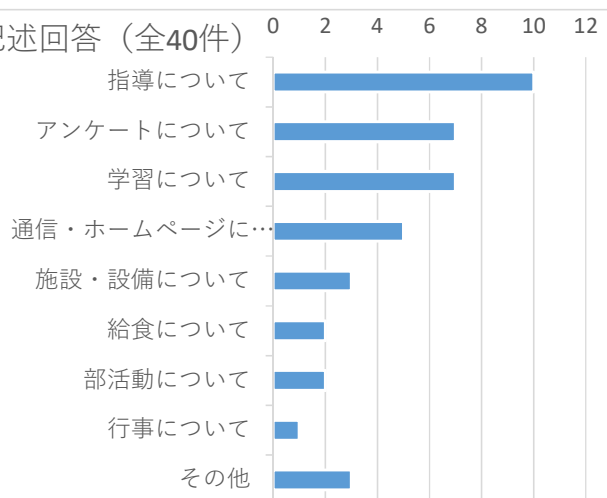
Q18 南山中学区の小中一貫教育の取組に意欲的に参加している。



Q19 南山中学校区で小中一貫教育は効果が上がっている



記述回答 (全40件)



令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立幡山中学校	学校番号	23
-----	-----------	------	----

学 校 経 営 方 針

人としての生き方を身につけ、国家・社会の担い手として、誇りと責任を自覚し、心身ともに健康で、たくましく生きぬく生徒を育てるという教育目標のもと、経営方針を次のア～クのように設定した。

- ア 動きのある学校づくり イ 保護者・地域・外部機関と連携した学校づくり
 ウ 小中9年間の指導の継続性を図る小中一貫教育 エ 教育の質の向上につながる働き方改革
 オ 愛情をもった学級経営・学年経営 カ 社会を生きていくための力を培う学習指導
 キ 正しく判断し行動できる生徒の育成 ク 心身ともに健康でたくましい生徒の育成

重 点 努 力 目 標

「すきまをうめよう」

校務分掌を決め、一人一人の教職員が役割をもって学校を運営している。しかし、学校の生活には、決められた役割分担だけではうめられないことがたくさんある。だれもが、その「すきま」に気づき、うめようとする意識をもつことが大切である。

生徒の姿、周りの同僚の姿、保護者や地域の姿、環境、社会の動きなど子どもたちを取り巻くものをつかりとみて、常に必要なことは何かを問い直す姿勢をもち続けたい。そのためのみる視点をもつことが必要であるが、一つの視点にとらわれすぎると見えなくなることもある。柔軟性のある視点、いくつかの視点をもてるようにしたい。

- 以上の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
子どもは、思いやりのある子に育っている	A
子どもは、たくましく生きる力が育っている	B
子どもは、地域に貢献できる子に育っている	B
子どもは、あいさつをよくしている	B
子どもは、楽しく学校に通い、学校の雰囲気はよい	A
先生は、子どもを理解しようとつとめている	B
学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	B
学校は、保護者や地域と連携して教育活動を進めている	A
学 校 関 係 者 より (学校運営協議会・PTA等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会委員やPTA役員から、生徒たちが、穏やかで話をきちんと聞く生活や授業をしていること、先生との交流も温かい雰囲気であることに好感をもたれている。 ・ 校則や身なりガイドラインの工夫や、熱心に生徒たちを見ている取組に感謝の声を聞いた。 ・ タブレット活用や生徒どうしの学びに時代の流れを感じている。大人に身近な投資・年金・保険の長短所だったり、洋裁などの作業実習だったり、多様な授業活動の必要性を求める意見があった。 ・ ICT整備に伴い、今後、授業の進度や板書の変化を先生に求めるのかと疑問の声が上がった。 	
第 三 者 より (外部の専門家・他校の教職員等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ SSTにSGEを加えた話し合い活動が、継続的な小中連携教育のひとつとして、コミュニケーション能力向上に役立てられている。 ・ 地域の小学校の教員より、生徒との信頼関係を築き、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな生徒指導を進めていると評価された。 	
取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者からも地域からもよく挨拶ができるとお言葉をいただくことが多い。言葉の使い方や伝わる重みなどを含め、会釈や目を合わせるなど、気持ちを伝えることを重点に取り組んだ。 ・ 落ち着いた学校生活のもとで、リーダー育成や個々の自主性・主体性を伸ばす取組が求められている。 ・ 整備されたICT環境を十分に生かした授業実践を積み重ねた。成果は少しずつ上昇傾向にあるが、根幹である授業で、さらに教員の研鑽を重ね、生徒一人ひとりの学力の向上を図りたい。 ・ 心の天気(生活ノート)や教育相談など、日常の変化を見逃さずに一人ひとりの生徒にあたたかな指導や支援を心がけた。一人ひとりにあたたかい雰囲気の指導や支援を継続していきたい。 	

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立品野中学校	学校番号	24
-----	-----------	------	----

学 校 経 営 方 針

- 生徒が自己理解を深めたり、責任を果たす実感と充実感を味わったりする活動に取り組む。
- 生徒の「生きる力」を育てる基礎としての「自ら学ぶ力」を育てる活動に、学年の実態に応じて取り組む。

重 点 努 力 目 標

- 指導法、特に授業の工夫と改善を通して、生徒の学力向上を図る。
- 「先輩から学ぼう、仲間から学ぼう」をスローガンに掲げ、生徒が品野中を誇りに思える学校づくりを推進する。
- QUテスト、ハピニコタイム(SST)を活用し、いじめ不登校対策を推進する。
- 自主性を育て、自己肯定感や成就感を味わうことができるような特色ある教育活動を進める。
- 生徒との信頼関係を構築し、共感的理解に基づく指導を進める。

- 以上の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
① 学校が楽しい、品野中学校の生徒でよかったと実感できる学校づくり	A
② 人との関わり(あいさつ、思いやり)を大切にする活動	A
③ 学び合いによる学習活動を通して協働型課題解決能力を育む	B
④ 生徒会・学年行事を通して、自主性・責任感・自己肯定感を育てる	A
⑤ 将来、夢に向かってチャレンジする、たくましく「生き抜く力」を育む	B
⑥ いじめ不登校のない学校づくり	B

学 校 関 係 者 よ り (学校評議員・PTA等)

- ・「授業の内容がよくわかっている」について、教員と保護者・生徒とのギャップがある。先生たちもきちんと自分たちの成果を肯定すべきである。
- ・部活動の指導についてのアンケート結果は、地域移行に向けての市全体の問題ととらえてよい。
- ・ICTを使った授業の内容が日進月歩である。先生達も技術向上に向けてのかなりの努力が必要である。
- ・「あいさつができていく」の評価が高いのが何よりである。品野中学校の生徒が登下校するときの表情を見ていて、充実した学校生活を送っている様子が伺える。挨拶については、地域の住民の方が自ら元気よく挨拶ができていく生徒が多いと褒めている。
- ・「品野中の生徒でよかった」の高評価が何よりの成果である。子どもたちを地域で活躍できる人間に育てていきたい。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

- ・全体的に昨年度よりプラスの評価が増えた。特に、「品中の生徒でよかった」という質問に対して大幅に増加したことは、日頃の教育活動の成果に所以すると思われる。また、「進んで学習している」についての評価が増加した要因として、協働型課題解決学習を意識した取組の継続があげられる。
- ・課題として、「授業が楽しい」「定期テストや評価評定が適切である」の結果が昨年度より低くなったことがあげられる。今後、教員の全体研修も充実させながら、個々の授業技術等のスキルアップを図るよう努めていく。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立光陵中学校	学校番号	25
-----	-----------	------	----

学 校 経 営 方 針

「自分を大切に 仲間を大切に作る温かい生徒」

- あたたく愛情豊かな学校・学年・学級づくり
- 充実した授業づくり
- こころ豊かに生きる人づくり
- 特色ある学校づくり

重 点 努 力 目 標

「生徒を認め、ほめる。大事にする」

- ひとりひとりの努力を認め、ほめることができるあたたかい学校づくり
- いじめ防止、不登校防止・克服に向けた取組の実施
- 5年後、10年後を見据えた系統的な3年間の指導の実践
- 感謝と思いやりの気持ちを素直に表せる生徒の育成
- 生徒・教職員が充実した学校生活を送れるための取組の実施

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評 価 結 果
ひとりひとりの努力を認め、ほめることができるあたたかい学校づくり ・毎日楽しく学校生活を送っている(学校に行くのは楽しい)。 ・光陵中学校には、何事にも親身に対応してくれる先生がいる。	A
いじめ防止、不登校防止・克服に向けた取組の実施 ・自分にはよいところがあると思う。 ・いじめは絶対にいけないことで自分はいじめをしないし加わらない。	B
5年後、10年後を見据えた系統的な3年間の指導の実践 ・自分には将来の夢や目標がある(もっている)。 ・学校のきまりやルールを守って生活している。 ・授業中、自分から進んで学習に取り組んでいる。 ・地域や社会をよくするために何かしてみたい。	B
感謝と思いやりの気持ちを素直に表せる生徒の育成 ・人の役に立つ(貢献できる)人になりたい。 ・自分から進んであいさつができる。	A
生徒・教職員が充実した学校生活を送れるための取組の実施 ・さくらんぼ学園との交流(授業・ボッチャなど)は楽しい。 ・部活動の活動日や活動時間は、自分にとってちょうどよい。 ・光陵中学校をよりよい学校にしていくために何かしてみたい、または協力したい。	A
学 校 関 係 者 よ り (学校運営協議会・PTA等)	
光陵中学校には、子どもたちの話をよく聞き、親身になって対応してくれる先生方が多くいる。また、キャリア教育に重点的に取組み、子どもたちの将来について自分自身が考える機会を多く作ってくれている。一方で、自分で学習を進めることが苦手である。保護者と学校が連携して学習に取り組む習慣を身につけていくことが必要である。	
取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策	
学校に対する安心感は一定程度得られており、地域や保護者からの理解と協力がある。しかし、生徒が自分に自信をもちきれていないことが明らかになったため、生徒の充実感や自己有用感を高める取組を次年度以降計画していきたい。	

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立水野中学校	学校番号	26
-----	-----------	------	----

学 校 経 営 方 針

【学校教育目標】

自他の生命の尊重、思いやりの心の尊重を基盤として

- ◎目標を立て、その実現に向けて努力する生徒の育成（立志）
- ◎礼節を重んじ、思いやりの心を持つ生徒の育成（礼節）
- ◎自らを鍛え、困難に打ち勝つことのできる生徒の育成（鍛練）

生徒が自ら学び考え、「生き抜く力」を育むため、生徒一人一人を大切に、教職員と生徒・保護者・地域の人々が信頼と協力のもと創造的・意欲的に活動し、生徒・保護者・地域の人々・教職員全員が愛することのできる学校づくりをめざす。

重 点 努 力 目 標

- 愛情をもった学級経営・学年経営
- 社会を生きていくための力を培う学習指導
- 正しく判断し行動できる生徒の育成
- 心身ともに健康でたくましい生徒の育成
- 保護者・地域・外部機関と連携した学校経営
- 小中9年間の指導の継続性を図る小中一貫教育

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
○校訓を意識した教育活動	A
○夢や目標の実現に向けて努力できる生徒の育成	B
○あいさつができる学校	A
○わかりやすい授業づくり	B
○生徒との信頼関係	B
○いじめや暴力のない学校づくり	B
○地域・家庭との連携	B

学 校 関 係 者 よ り (学校評議員・PTA等)

・全体的に落ち着いた学校生活を送れていると思うが、不登校の生徒が増えているのが心配である。原因を探ることと今後の対策を練っていくことが大切だと思う。

・気持ちのよいあいさつをしてくれる子が増えていると感じる。

・生徒と保護者で評価にずれがある項目については、しっかりと分析していくといろいろなことが見えてくるだろう。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

生徒・保護者ともに概ね昨年度より高評価となった。重点とした「校訓」「信頼」「あいさつ」の項目は軒並み昨年度を上回っており、あいさつなどは保護者や地域の方からも評価していただけている。しかし、「思わない」に回答する割合も少しずつ増えていることから、2極化してきているのを感じる。授業への取組に関する項目では生徒は大きく伸びている項目が多いが、保護者は昨年度並みあるいは減少している。生徒が「わかる」「できる」と感じていることが保護者に伝えられるようにしていかななくてはならない。

また、全ての項目において「わからない」と回答する保護者も相変わらず多かった。より開かれた学校となるよう努めていく必要がある。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	小中一貫校 にじの丘学園 瀬戸市立にじの丘小学校・瀬戸市立にじの丘中学校	学校番号	16 27
-----	---	------	----------

学 校 経 営 方 針

- ・ 児童生徒が生きるこれからの社会に対応するために必要な力である「課題解決能力」を育成する。
- ・ 9年間を見通した教育課程のもとに、幼保や上級学校、地域との連携を推進する。
- ・ 瀬戸を誇りに思い、地域に愛着をもつ郷土愛を育む。
- ・ コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)として、「地域とともにある学校」づくりを推進する。

重 点 努 力 目 標

- ア 協働型課題解決能力を育てる諸活動を実践する。
- イ 協働的な授業、小中相互の乗り入れ授業、ICT機器の活用などを進め、児童生徒が主体的に取り組む魅力的な授業を展開する。
- ウ 個々のつまずきや特性に応じた指導、学習を深め広げるための学習活動の工夫を行う。
- エ 人と関わるスキルを向上させる活動に全校で取り組み、児童生徒・教職員の総力で「楽しい学校」を築く。
- オ 地域や異校種と連携し、安心安全で多様な人とのかわりによる学びの支援を実現する。それらを通して地域をはじめとする様々な人と協働する気持ちを醸成する。
- カ 自らを知り、将来の夢や希望に向けて努力できる児童生徒の育成のため、キャリア教育や異学年交流を推進する。
- キ 支え合える人間関係と自立した個人を育てることを目指し、教育活動の工夫や改善を進めるとともに、児童生徒に寄り添った支援を行う。
- ク 教職員の多忙化解消に向けた取組を推進する。

○ 以上の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評 価 項 目)	評 価 結 果
ア 協働型課題解決能力の育成	B
イ 児童生徒が主体的に取り組む授業づくり	A
ウ 個別最適な学びの推進	A
エ 人と関わるスキルの向上	A
オ 地域や異校種との連携	B
カ キャリア教育や異学年交流の推進	A
キ 児童生徒に寄り添った支援	B
ク 教職員の多忙化解消に向けた取組	B

学 校 関 係 者 よ り (学 校 運 営 協 議 会 ・ P T A 等)

- ・以前までは、地域の催し物は学校で開催することが多かった。施設の運用に関しては、以前のように使用することは難しいが、地域と学校との連携は違う形で強いものであってほしい。
- ・地域の方が学校を知る機会が少ないので、地域と学校が繋がれるような機会を増やしてほしい。
- ・小中一貫校のメリットを活かし、異学年交流等で人とのつながりを深めてほしい。
- ・学校安全の観点から、地域に開かれた学校の推進により、より一層防犯対策の徹底を図るべき。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

- ア 教職員一丸となって授業改善に取り組んできた成果は見られるが、保護者に理解していただくよう引き続き協働型課題解決能力の育成に努めていく。
- イ 学校教育全般に置いて、児童生徒が主体的に取り組む活動を継続していきたい。

ウ 個のつまずきや興味関心に対応した個別最適な学びを進めていきたい。また、学習を深め広げるために教職員の取組や保護者の支援を継続し、児童生徒の結果につながるようにしたい。

エ 全校での人と関わるスキルを向上させる活動を継続し、自己および他者理解を深め、上手な人間関係づくりができる集団を育てていきたい。

オ 地域連携の意識がさらに高まるよう、学校、地域、家庭がパートナーとして連携し、教育活動を支援する体制を構築していきたい。

カ 小中学校において、互いにメリットのあるように工夫した異学年交流を実施してきた成果が表れている。今後は、中学生の意識をさらに高めていきたい。

キ 教育活動の工夫と改善、児童生徒に寄り添った支援を継続するとともに、人がかかわり合い、支え合う機会を充実させていきたい。

ク 教職員が気兼ねなく話すことができる職場の雰囲気づくりと、ワークライフバランスを意識したタイムマネジメントを進めていきたい。

令和5年度 学 校 評 価 報 告 書

学校名	瀬戸市立瀬戸特別支援学校	学校番号	31
-----	--------------	------	----

学 校 経 営 方 針

明るく心豊かに学校生活を送ることができる環境を整えるとともに、個々の教育的ニーズに応じた教育を実践することにより、共生の意識と自己肯定感の伸長を図り、児童生徒一人一人が主体的に社会参加を目指す資質を育成する。

重 点 努 力 目 標

- 1 児童生徒の主体的・対話的で深い学びや系統的な学びにつながる授業づくりを行う。
- 2 安全で安心な学校環境づくりを進める。
- 3 情報発信に努め、家庭や地域、関係諸機関と連携して、社会に開かれた特色ある学校づくりを行う。
- 4 校内外の研修の機会をとおして、特別支援教育の専門性を高める。
- 5 全教職員が協働して効率的に業務にあたり、教育活動の充実を図る。

○ 上記の経営方針(重点努力目標)の下、(特に重点的に)取り組んできたことについて、アンケートの結果などを踏まえ、自己評価結果を報告します。

重 点 的 な 取 組 (評価項目)	評価結果
① 児童生徒の主体的・対話的で深い学びや系統的な学びにつながる授業づくり	A
② 安全で安心な学校環境づくり	A
③ 情報発信に努め、家庭や地域、関係諸機関と連携して、社会に開かれた特色ある学校づくり	A
④ 校内外の研修の機会を通して、特別支援教育の専門性を高める	A
⑤ 全教職員が協働して効率的に業務にあたり、教育活動の充実を図る	A

学 校 関 係 者 よ り (学校運営協議会・PTA等)

- ① 学校経営方針の中で、地域の人との交流など、ポッチャや運動会など挙げられている。地域の学校ともつながってけるとよい
- ② 感染症対策を十分に行って、授業や行事、実習等を行っていることをとてもありがたく思っている。地域防災についても考えていけるとよい。
- ③ 学校からは学校通信、ホームページで教育活動の様子がわかる。授業だけでなくいろいろな取組がたくさんあってとてもよいと思う。学校のことを地域の方に発信し一緒に考えることができるきっかけになるとよい。
- ④ 最新の(ICT)機器で、児童生徒にわかりやすい授業を行っている先生方の努力や工夫が分かった。高く評価している。特別支援教育の研修会を積極的に行っている。
- ⑤ 学校評価を読むと、学校の様子がよくわかる。令和10年に小中高統合し新しくなった特別支援学校を歓迎する。協力できたらと思う。

取 組 の 結 果 と 今 後 の 改 善 策

・小学部では、部集会や社会見学、校外学習、交流及び共同学習において集団を広げて活動することができた。年間指導計画に則り、役割分担して学校生活の様子や壁面掲示、児童の作品などを積極的にホームページに掲載し、保護者や地域の方々の学校理解につなげることができた。

・中学部では、生徒の学習状況を情報共有し、関係職員で生徒の力を伸ばす授業づくりを実践できた。保護者アンケートではキャリア教育を意識した取組が充実していると感じるという回答がほぼ全員から得られた。今後も職場体験をはじめ、キャリア教育の充実を図っていく。

・高等部では、すべての学年において学校間交流を実施した。時間を共にする中で、関わりを深め社会性や、豊かな人間性を育んだ。校内実習や産業現場等における実習の様子を、連絡帳や懇談等を通して保護者と共有した。高等部卒業後の生活に向けた目標についても共通理解を図ることができた。今後はさらに、進路先についての情報提供の場を広げ、より適切な進路指導へとつなげていきたい。